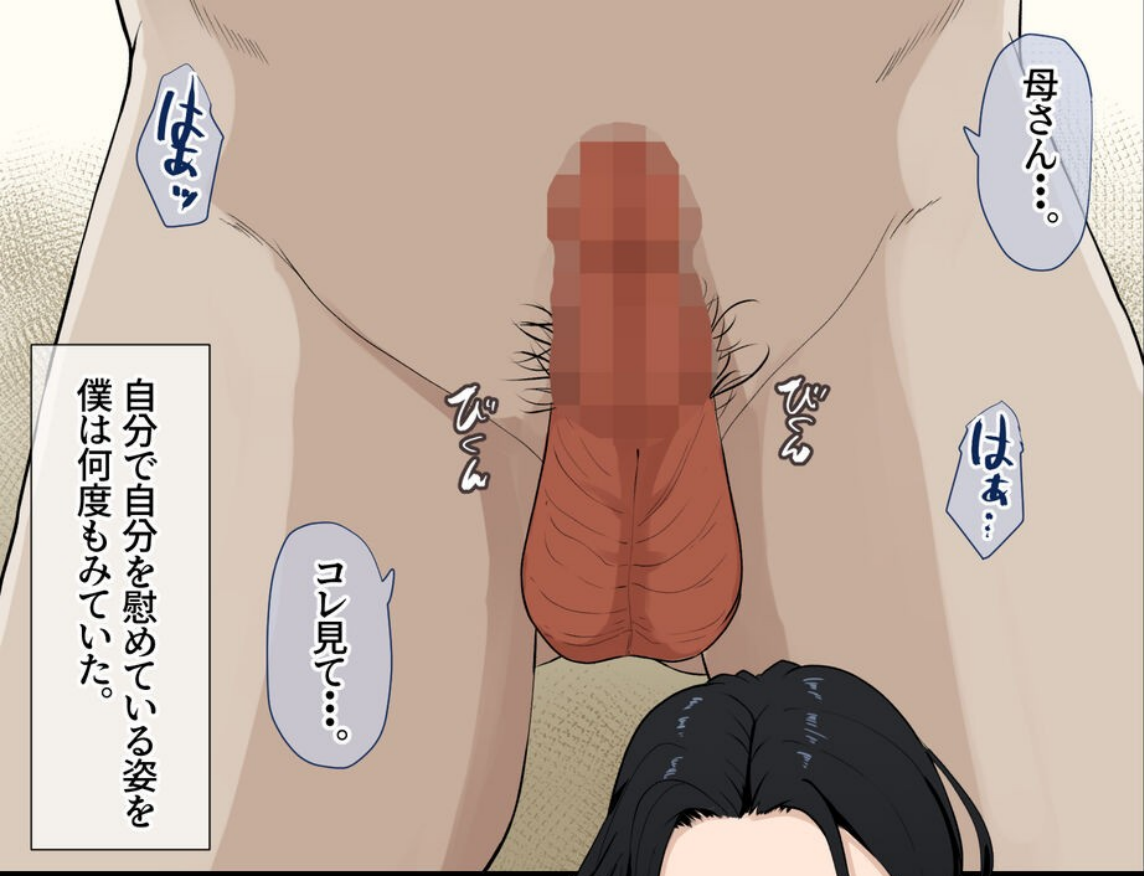




僕の母親が

再婚しない理由

ワケ



母さん…。

はまッ

はま..

はま

はま

コレ見て…。

自分で自分を慰めている姿を
僕は何度もみていた。



女手ひとつで僕を
育ててくれる母さんが…

あ

ん

はま
はま



や…やめなさい…っ
ち、違うの…っ
そんなつもりじゃ…

いけないわ…っ
こんなことお…っ

だから僕は、ある日…
母さんの寂しさを埋めてあげた。

あ

あ

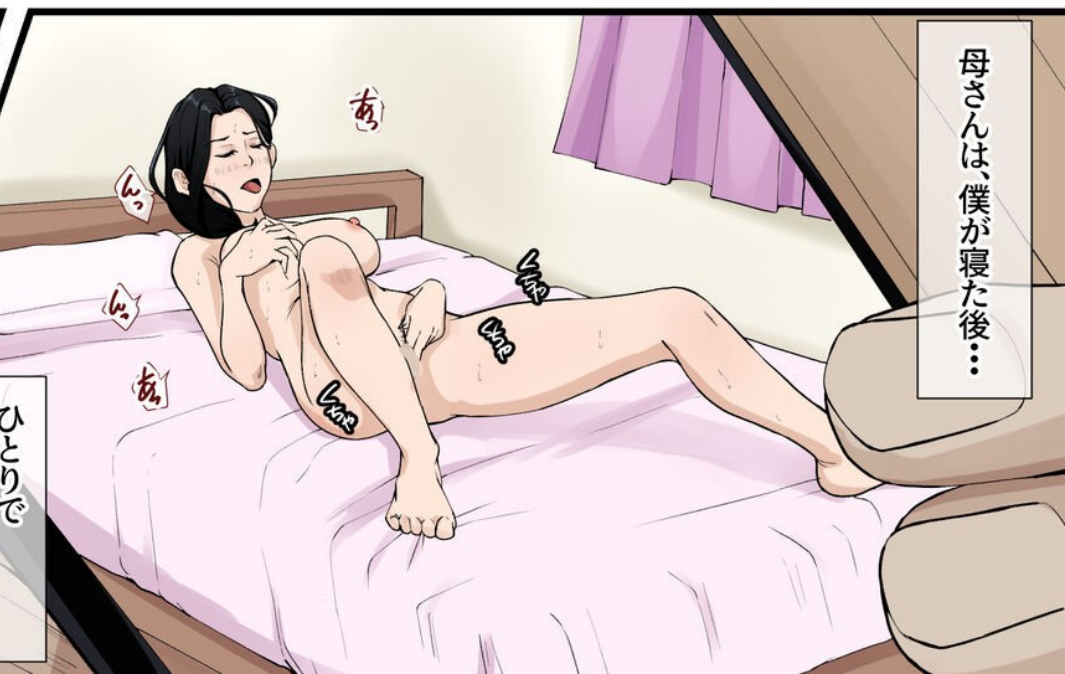
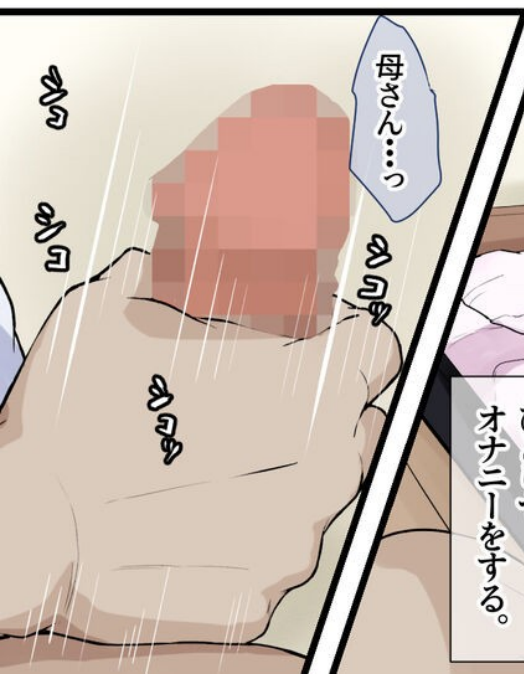
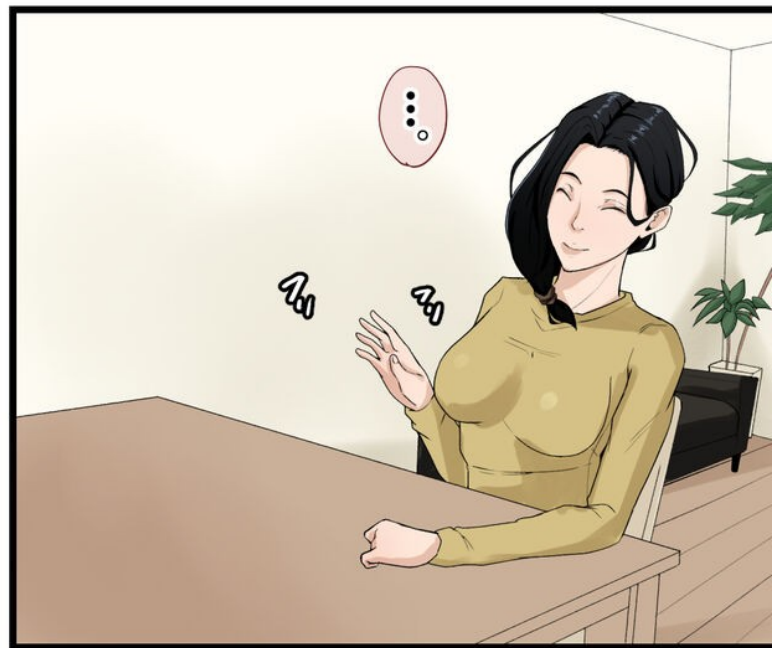
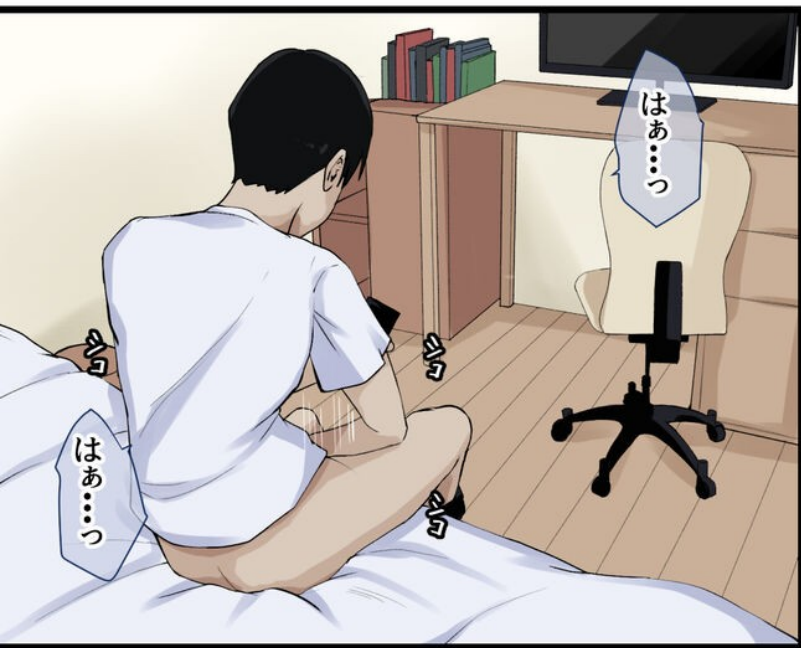
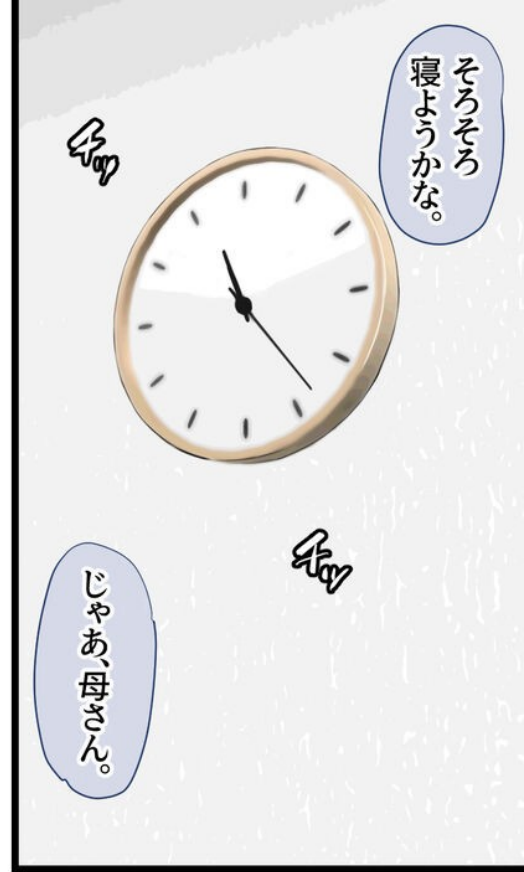
ん

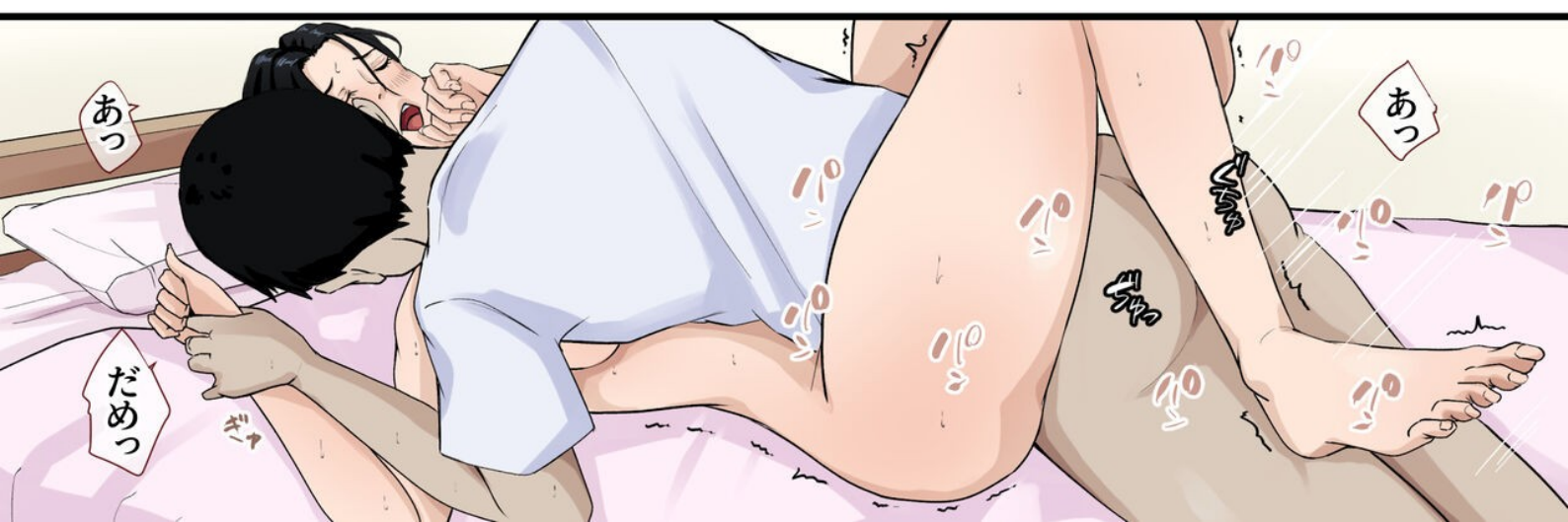
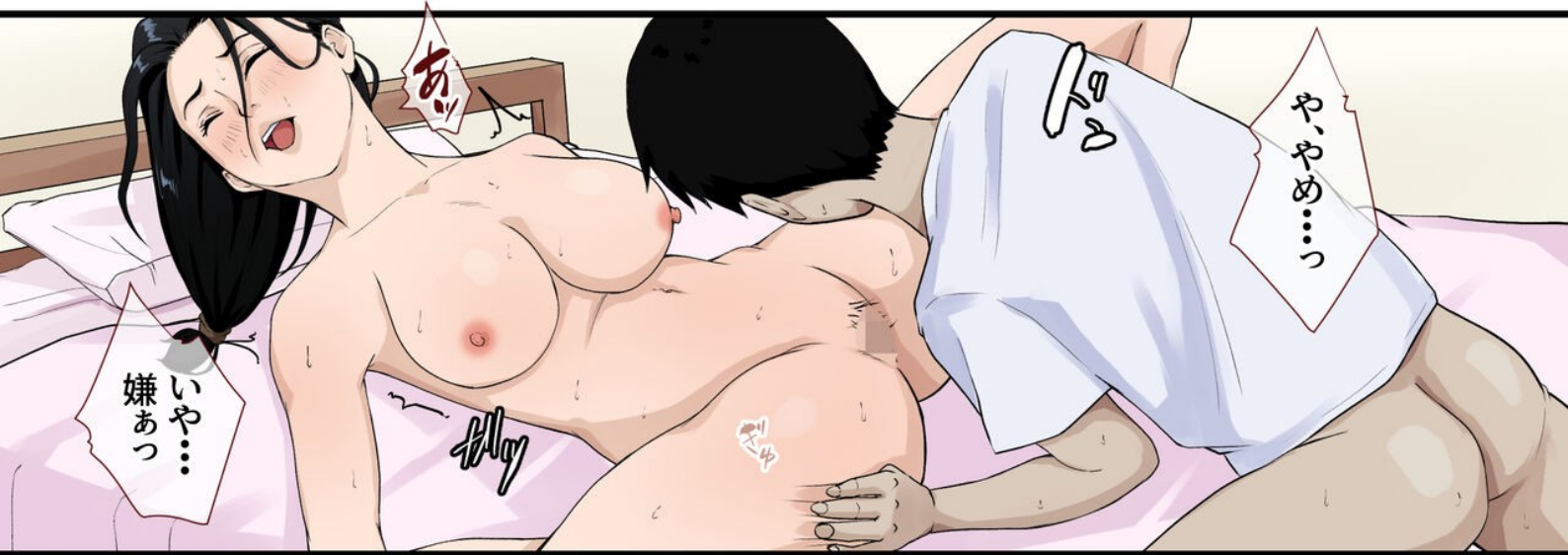
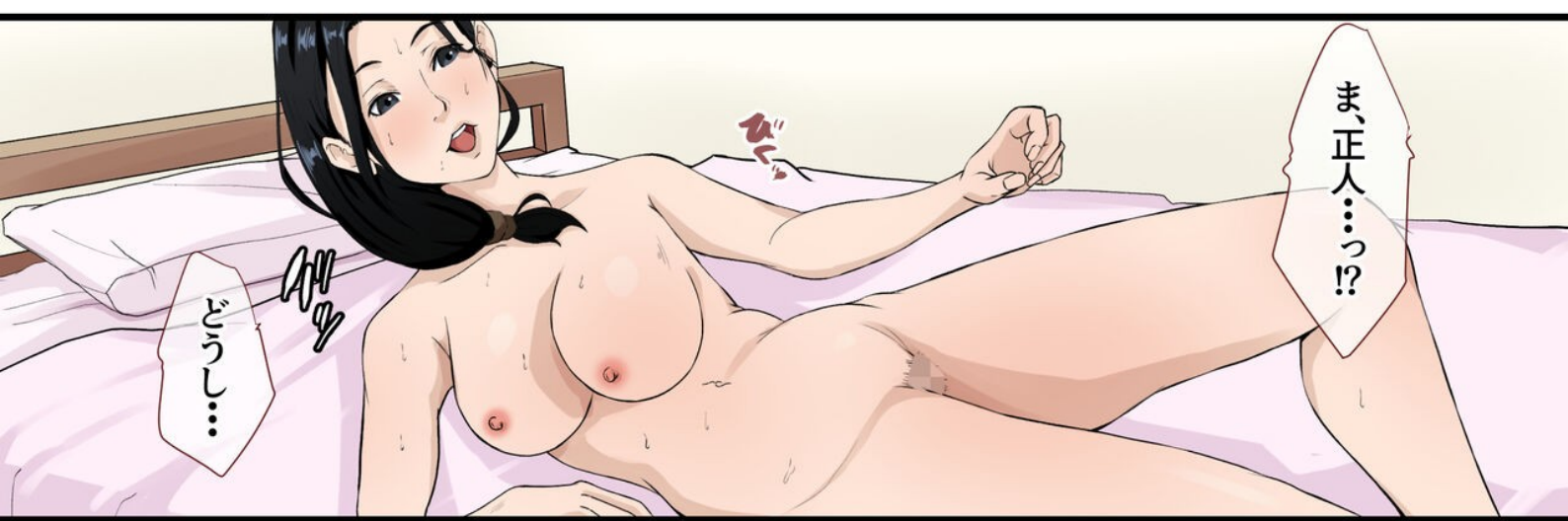
ん

あ

ん

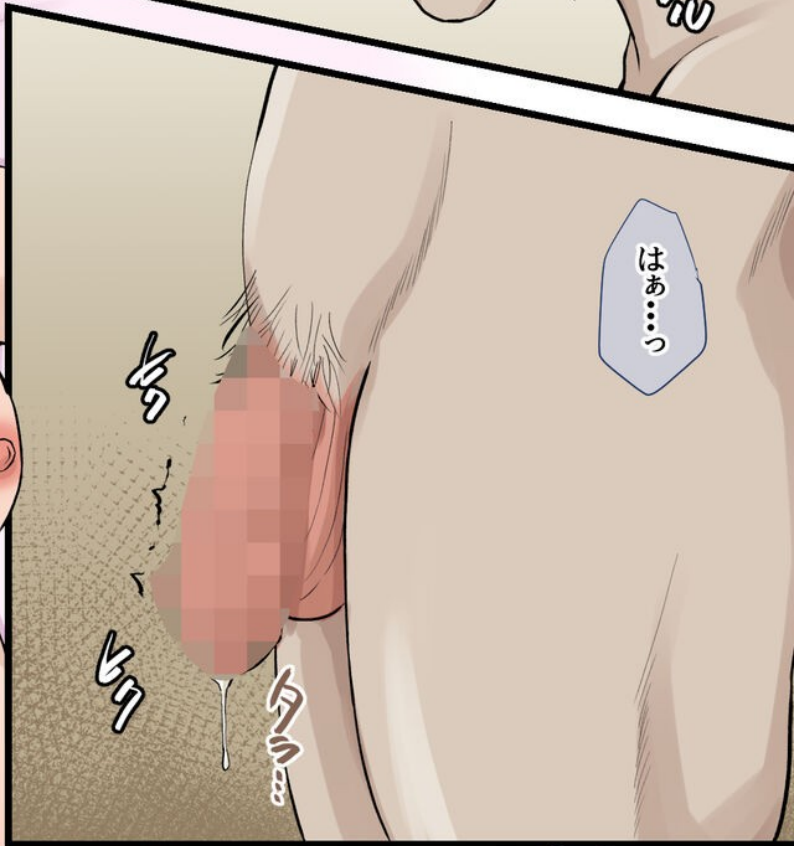
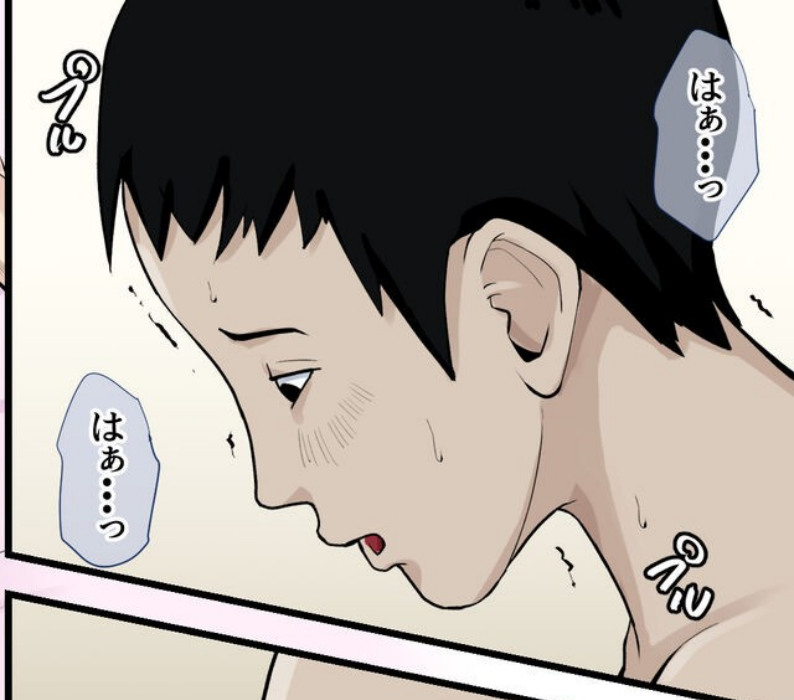
ん



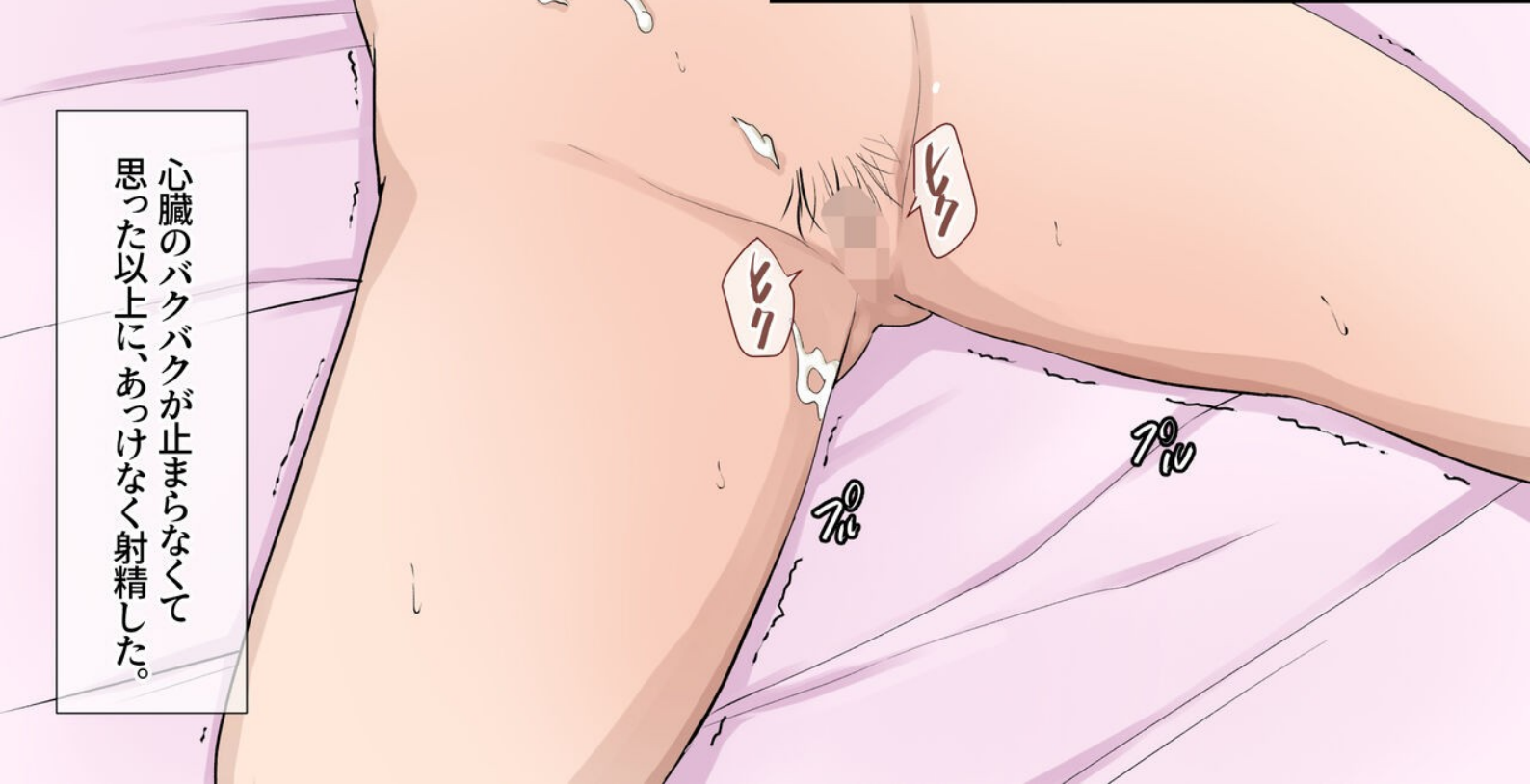


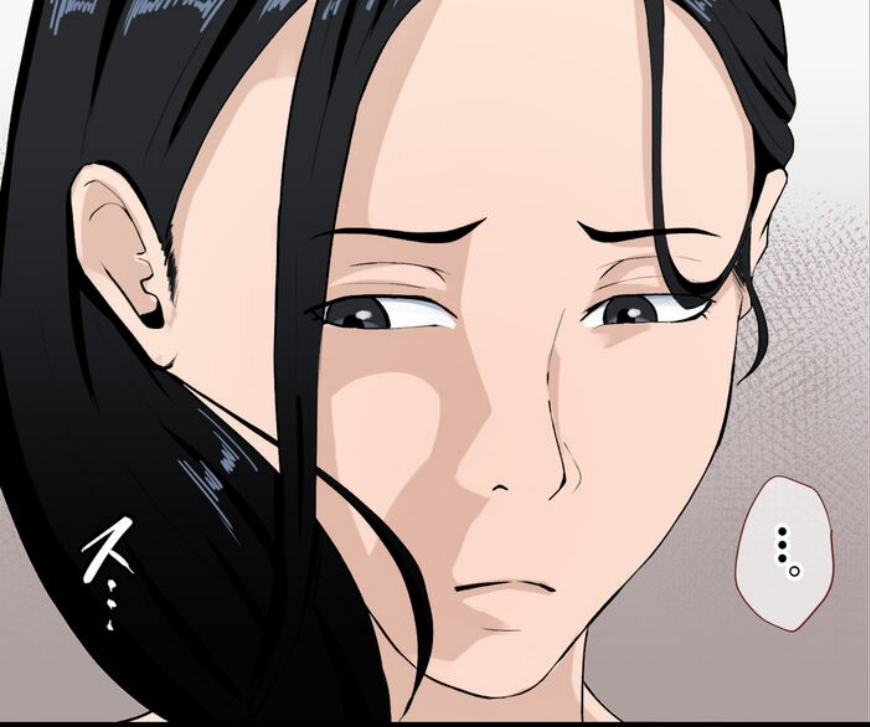


母さんの膣内はヌルヌルで
思った以上に、あっさり入った。



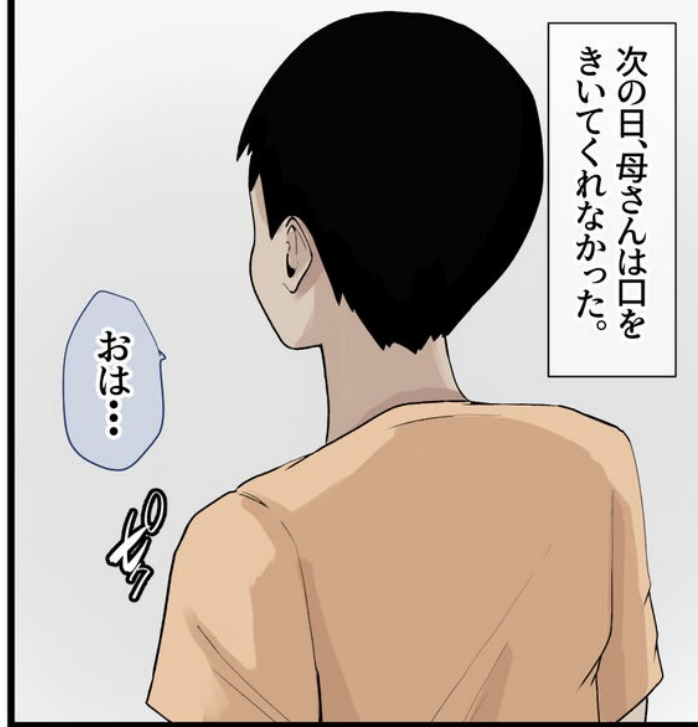
心臓のバクバクが止まらなくて
思った以上に、あっけなく射精した。





ア...

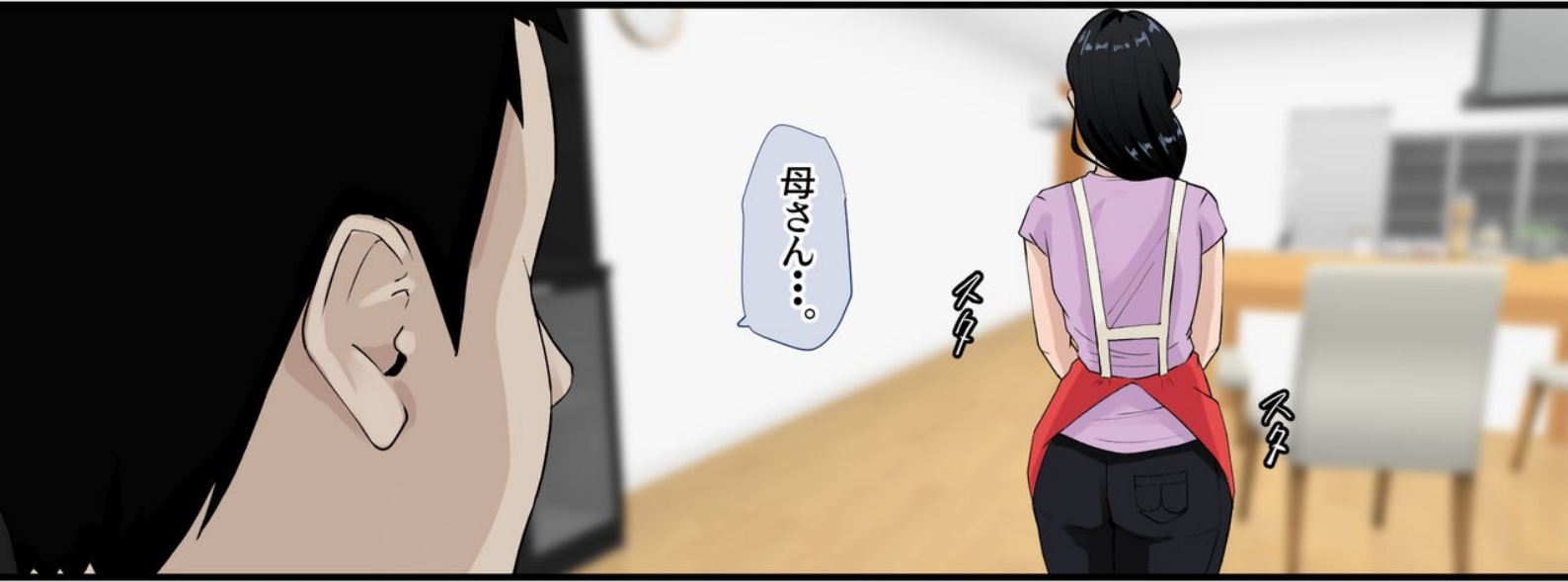
...



おは...

ア...

次の日、母さんは口を
きいてくれなかった。



母さん...

ア...

ア...



あからさまに僕を避ける母さん。

でも、僕には分かっていた。

ム...

ム...

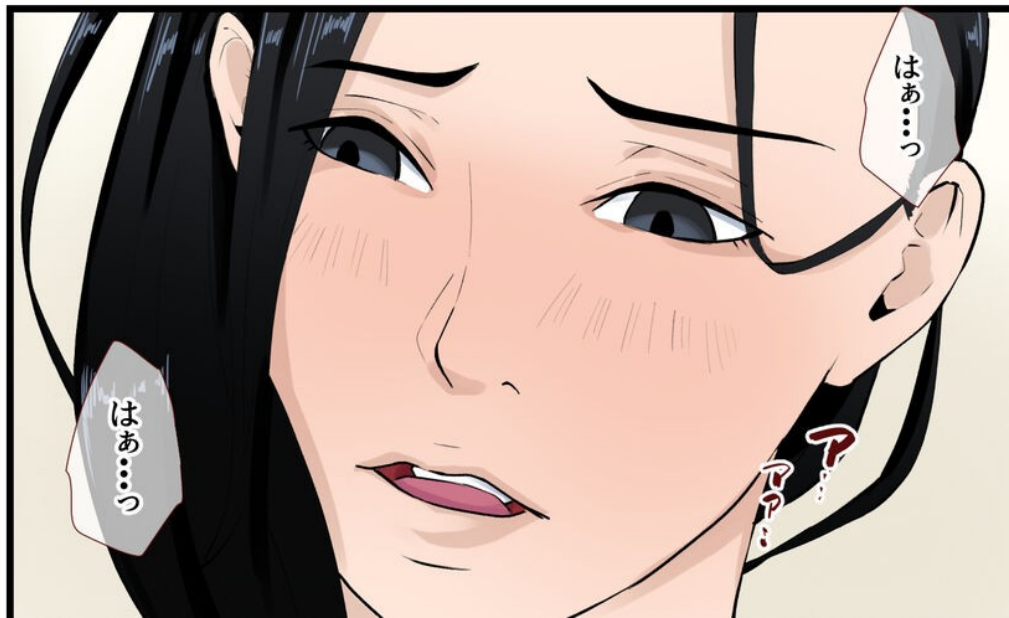
ム...

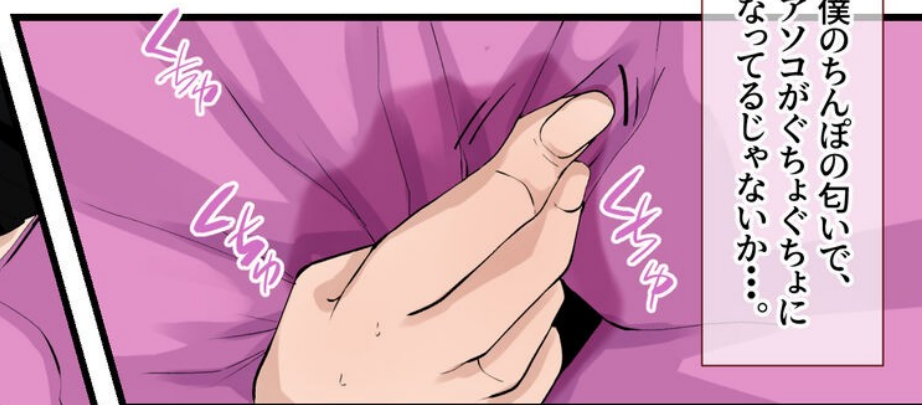
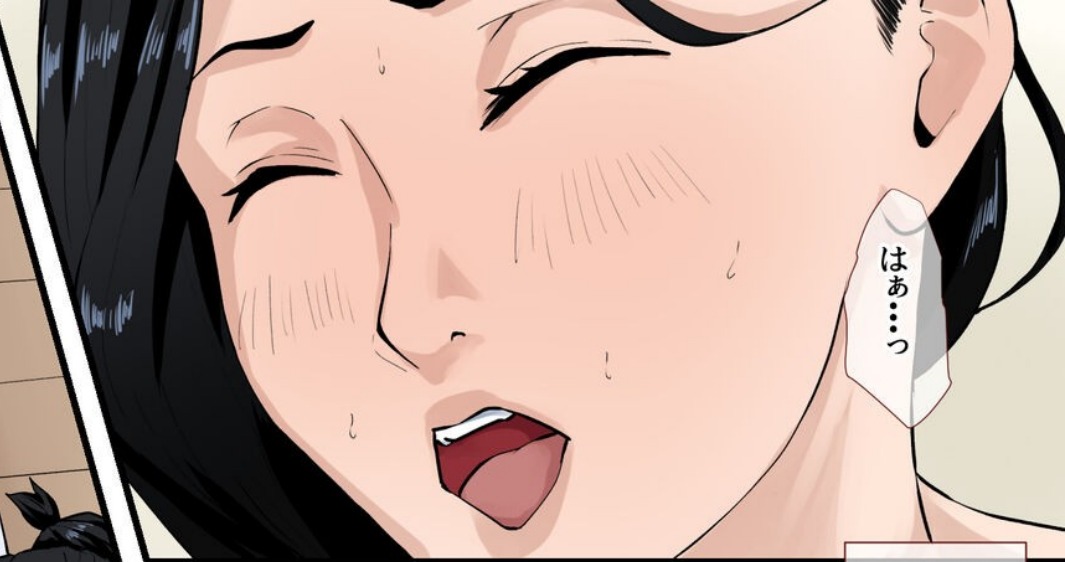
ム...

ム...



ある日の深夜



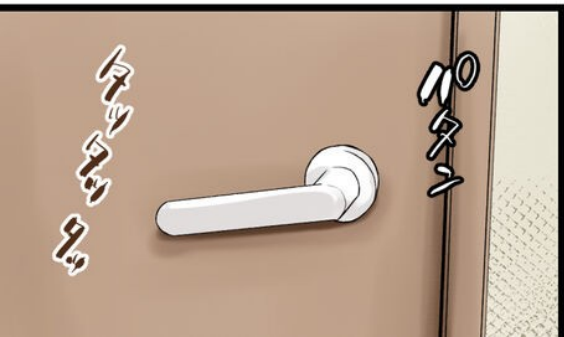
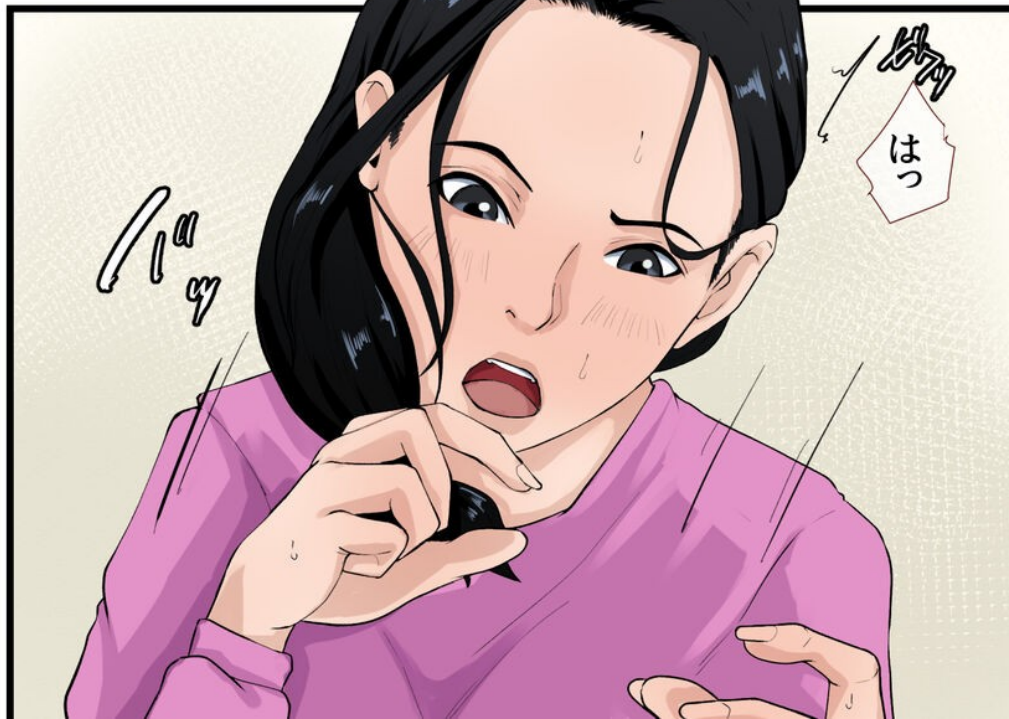
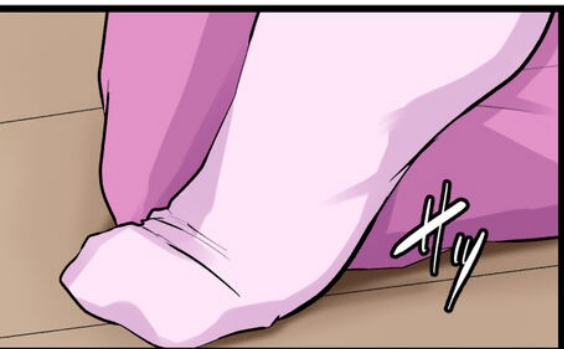


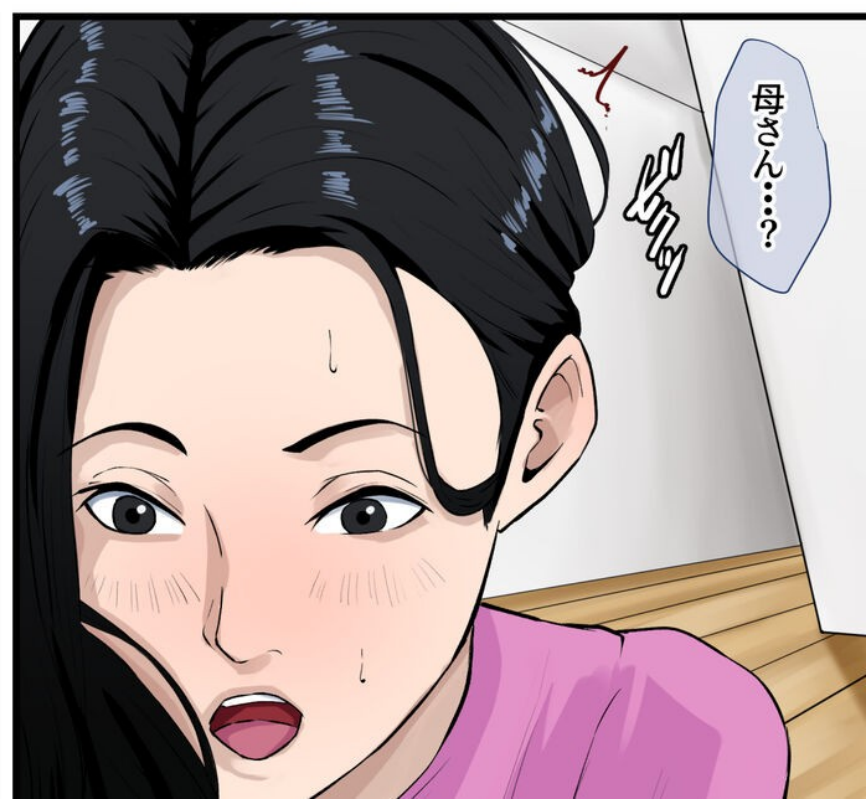
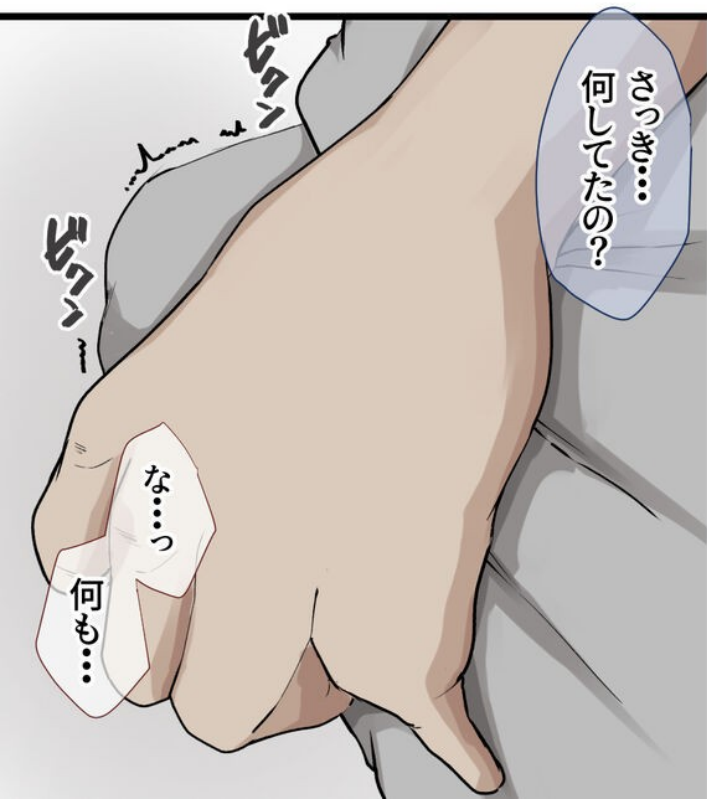
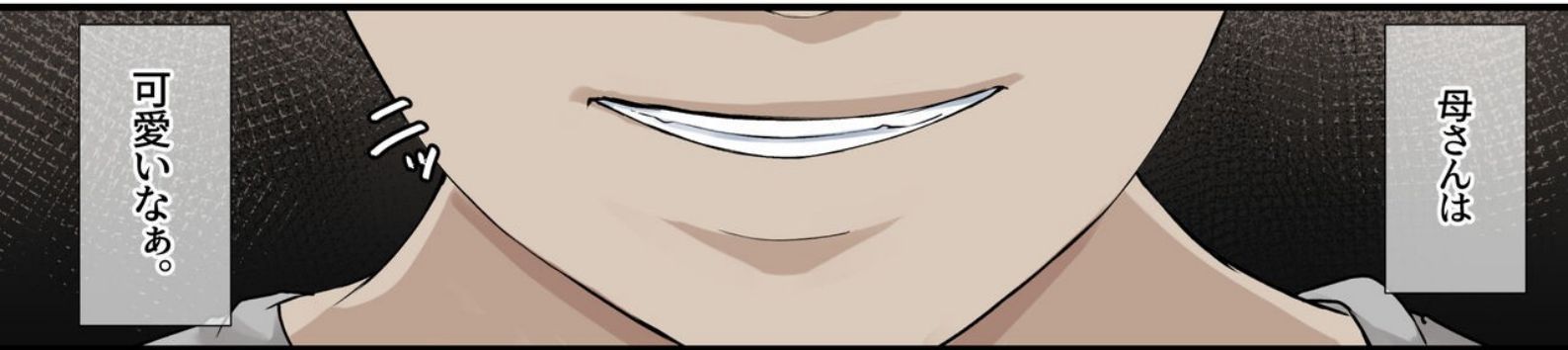
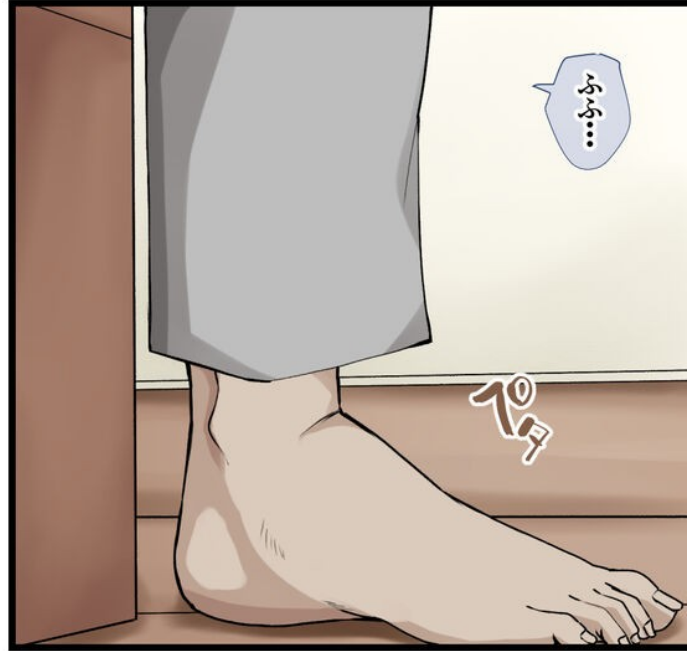
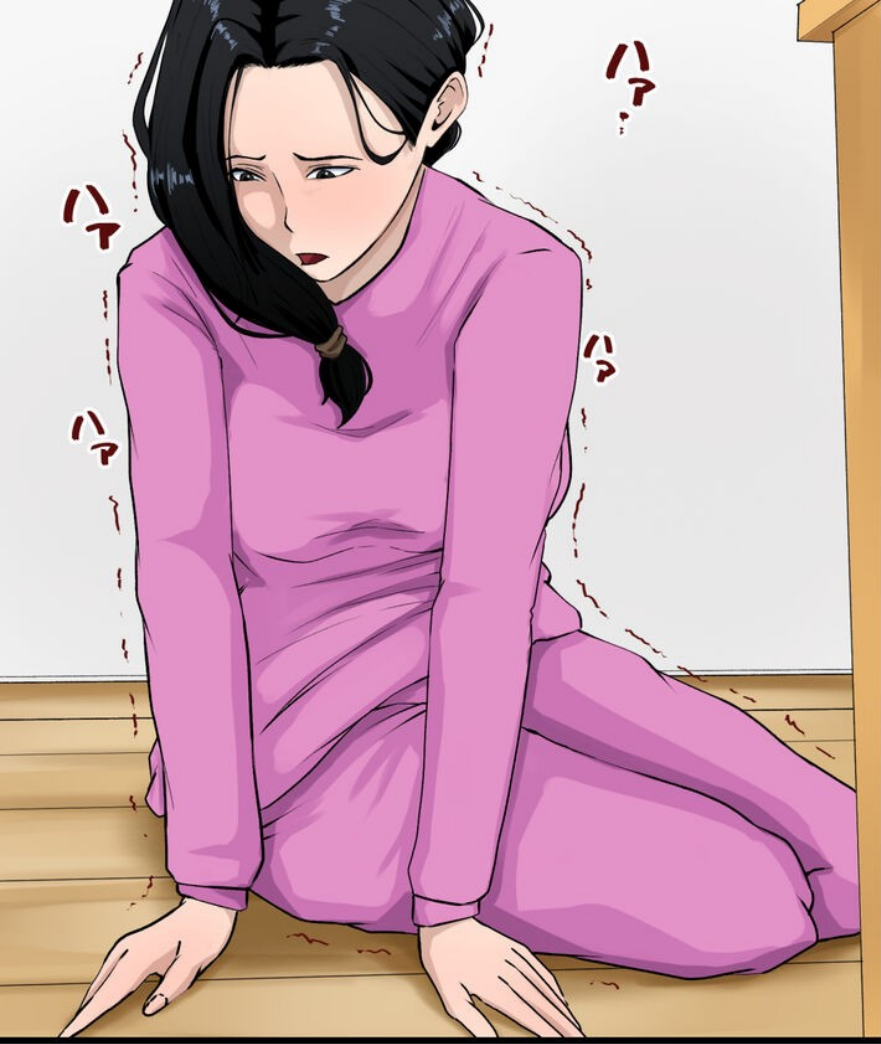
僕のちんぽの匂いで、アソコがぐちよぐちよになってるじゃないか...

素直じゃないから、おあずけだ。



ふふ。母さん可愛いな...

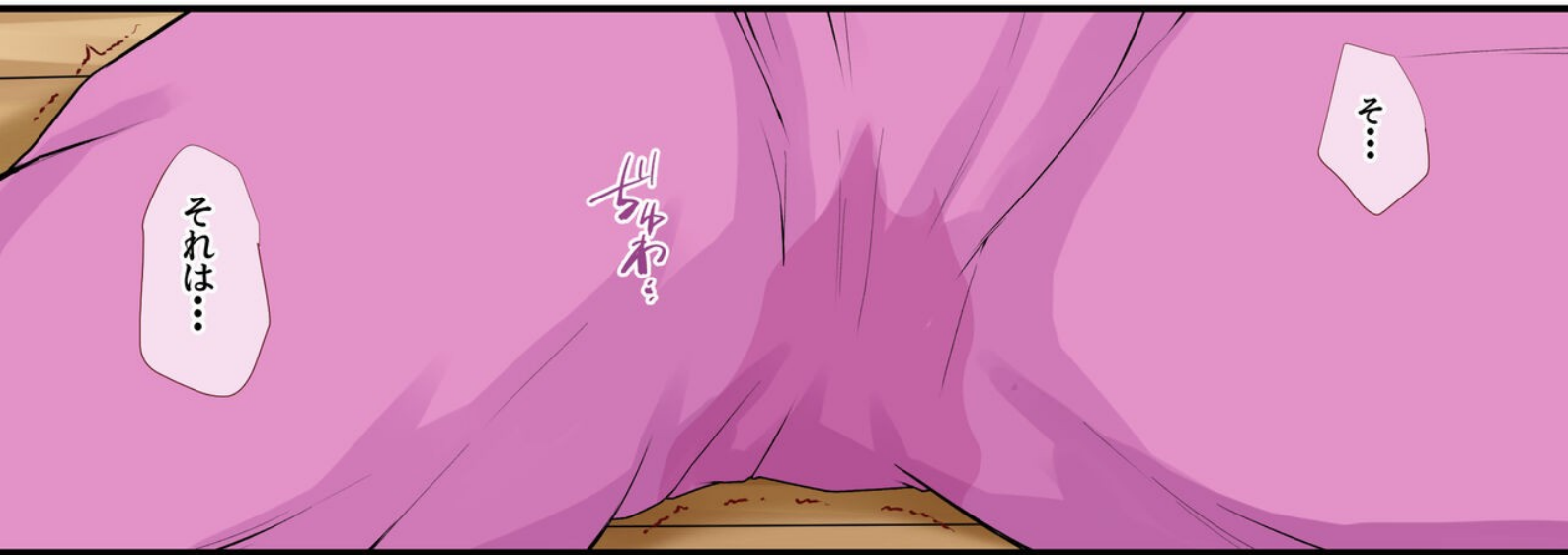






じゃあ、どうして
お股を濡らしてるの？

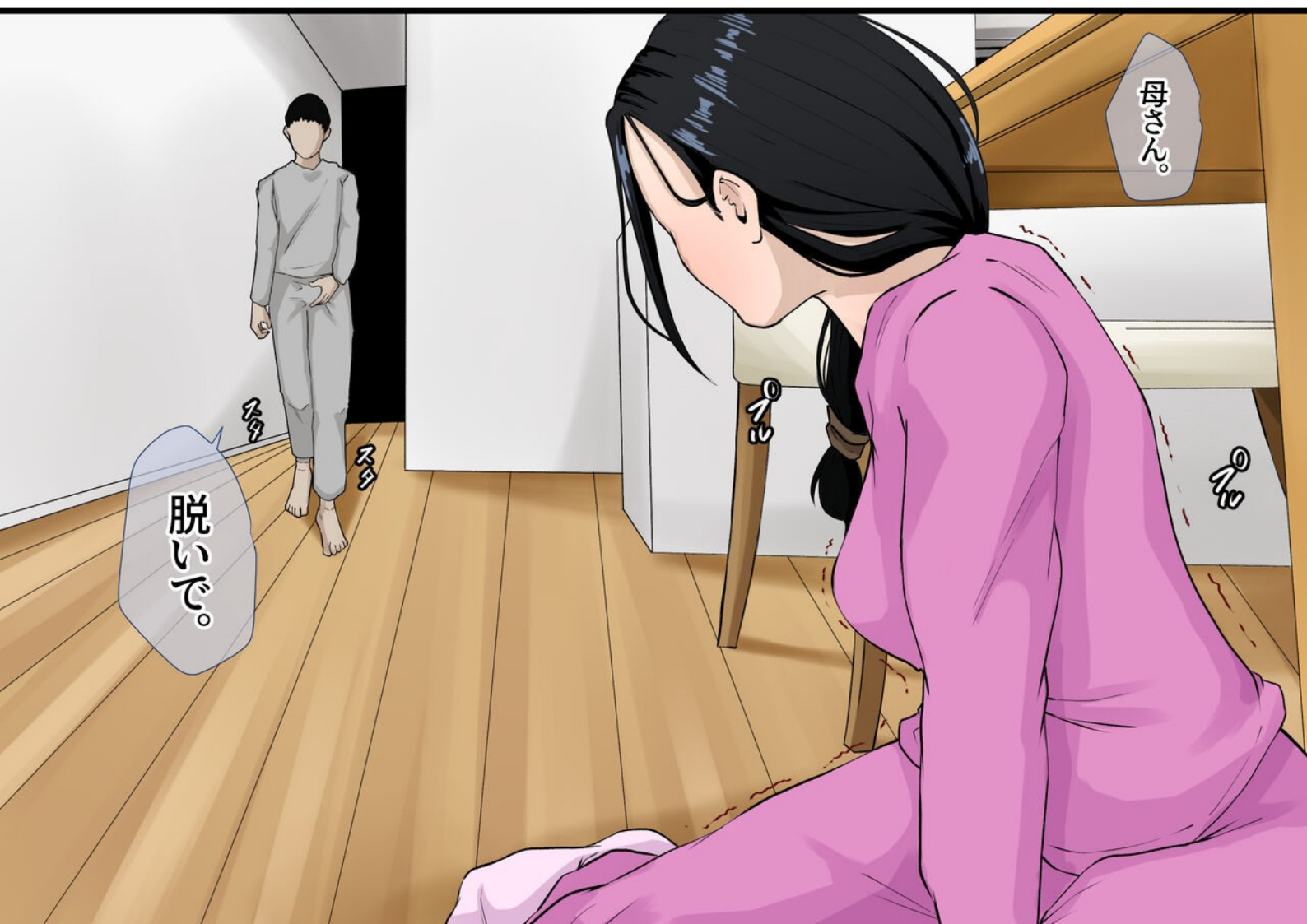
ふうん…。



それは…

んんん

そ…



脱いで。

母さん…

んんん

んんん

んんん



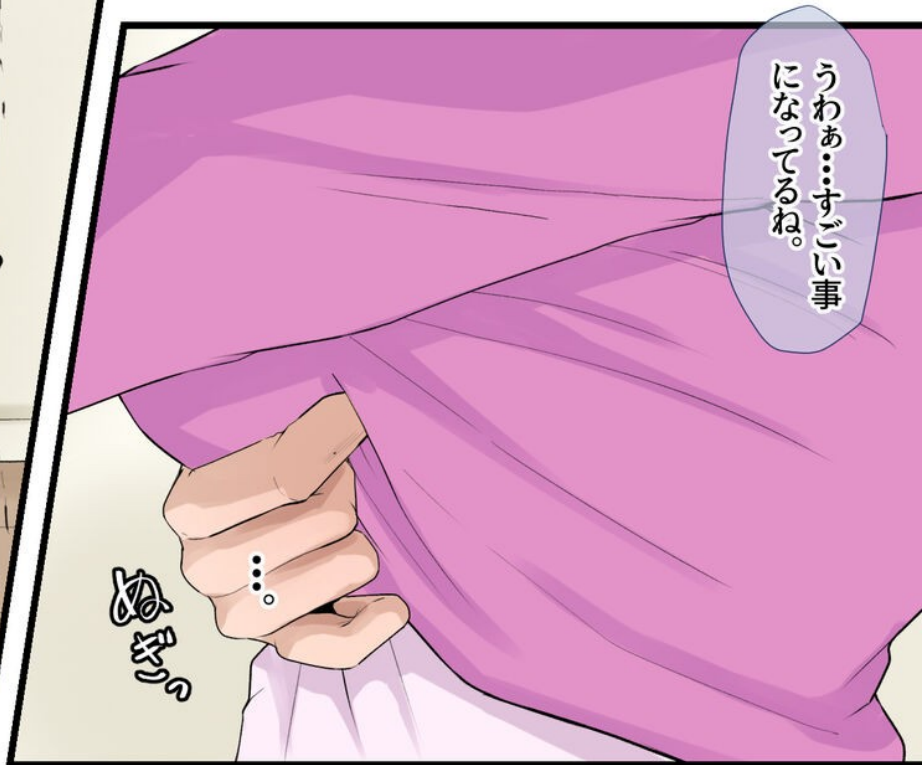
僕のちんぽ嗅いで興奮しちゃったんだ？

もう一度ちんぽ入れて欲しくて僕の所に来たんでしょ？



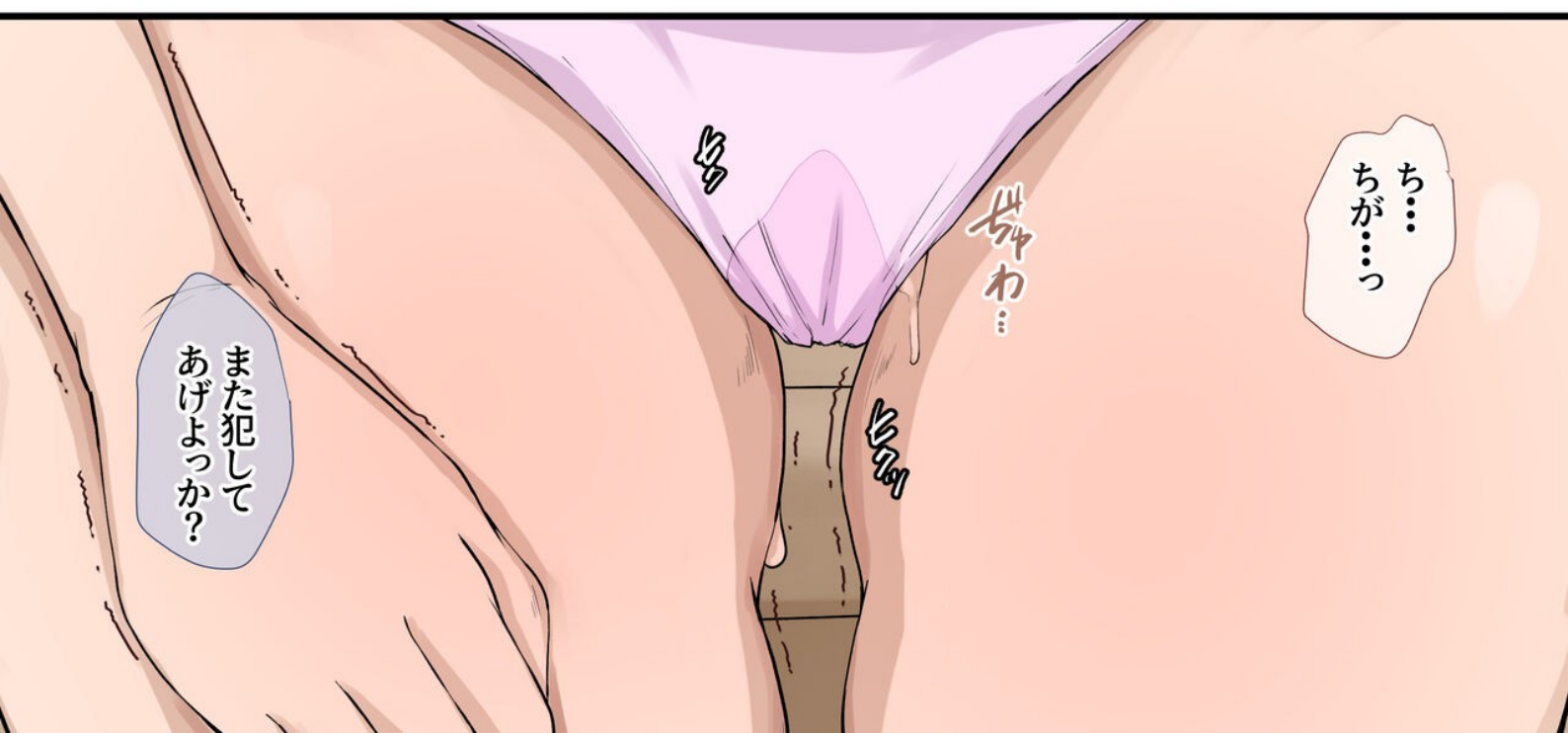
母さん。

ハア...



うわぁ...すごい事になってるね。

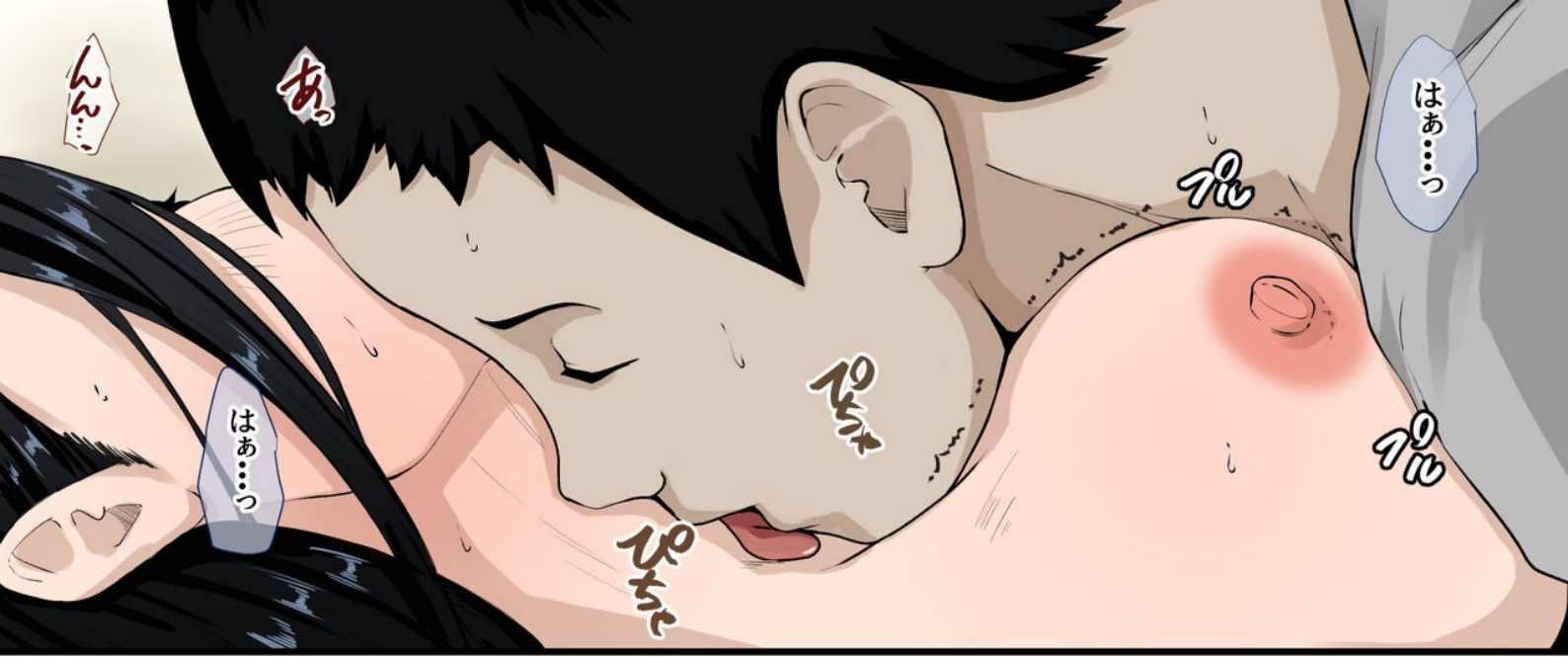
ぬぎっ...



ち...
ちが...っ

しゃわ...

また犯してあげよっか？



んん...

あ

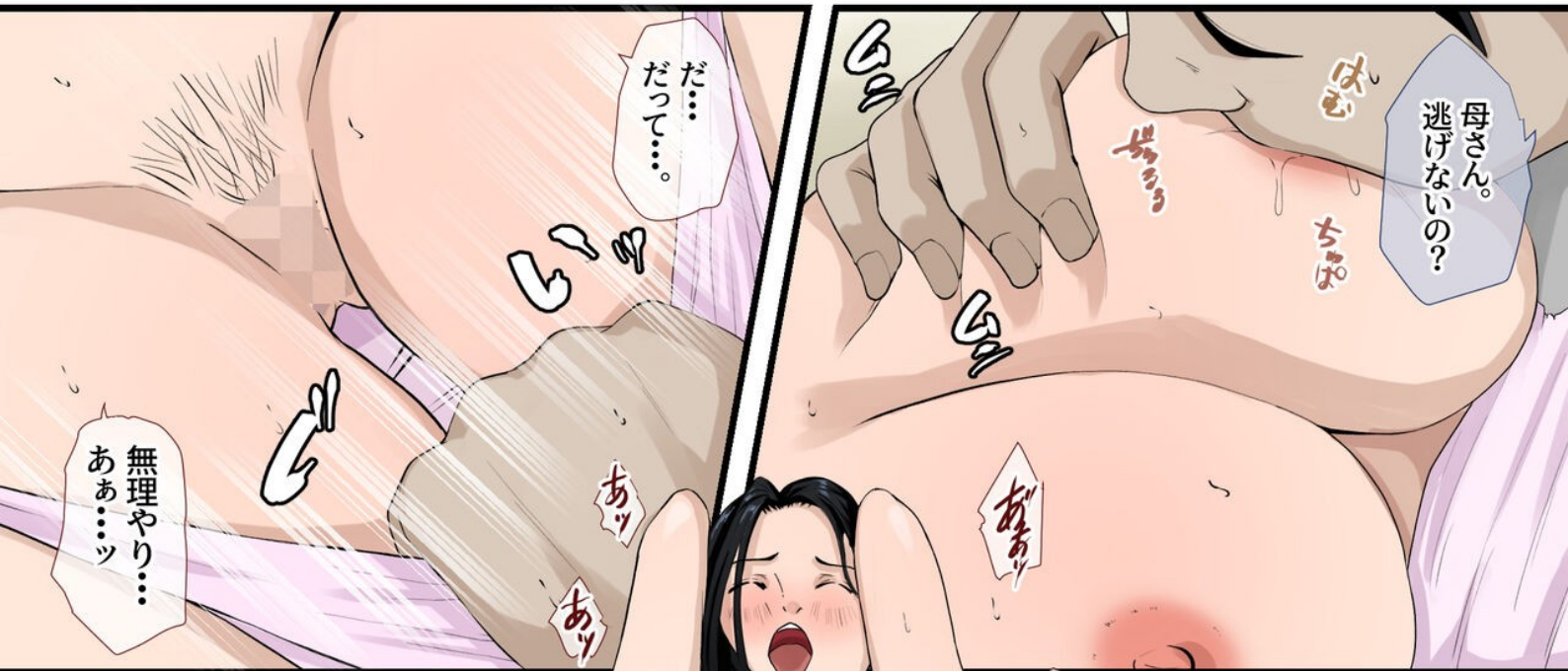
はあ...っ

はあ...っ

ひび

ひび

ひび



だ...
だ...
だ...
だ...
だ...
だ...

母さん。
逃げないの？

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

無理やり...
ああ...ッ



へえ...。

そういう言い方
するんだ...？

うう...。

あ

あ

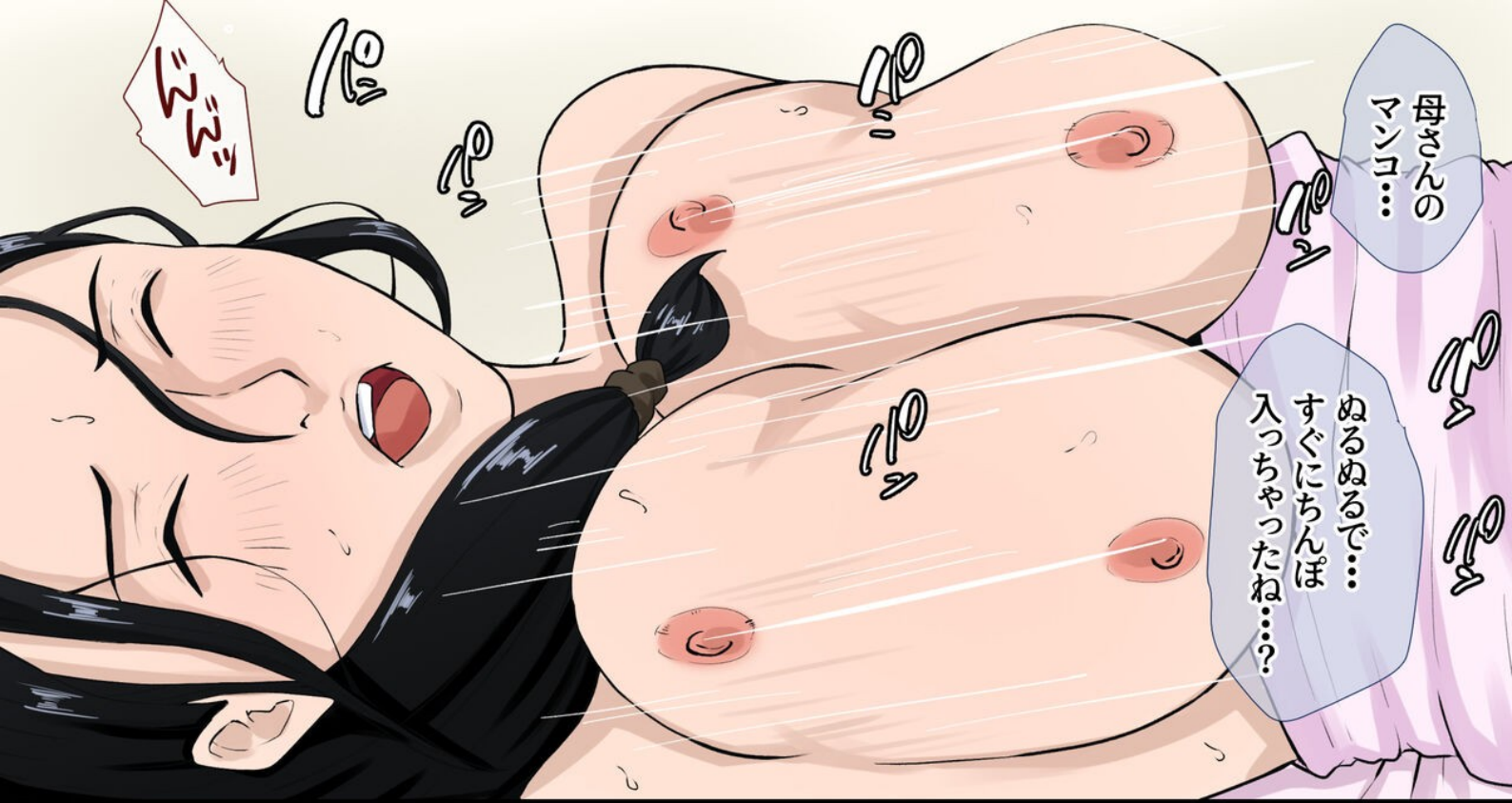
あ

あ

あ

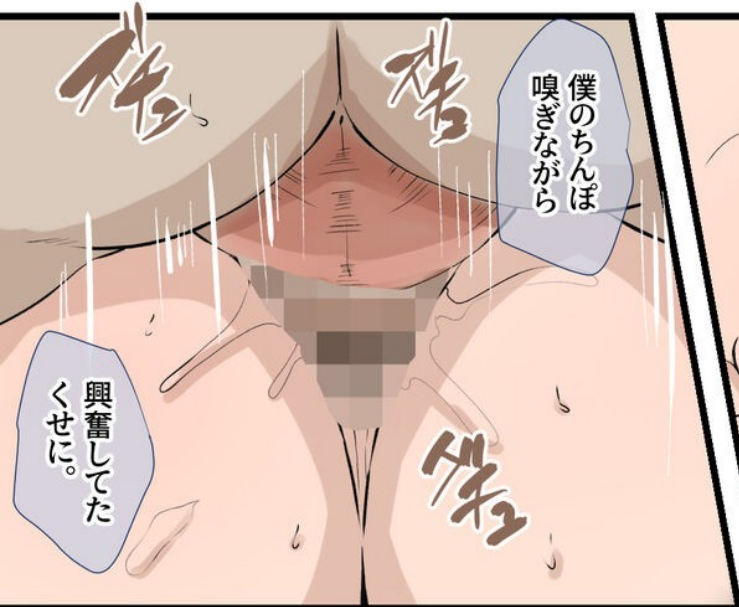
あ

あ



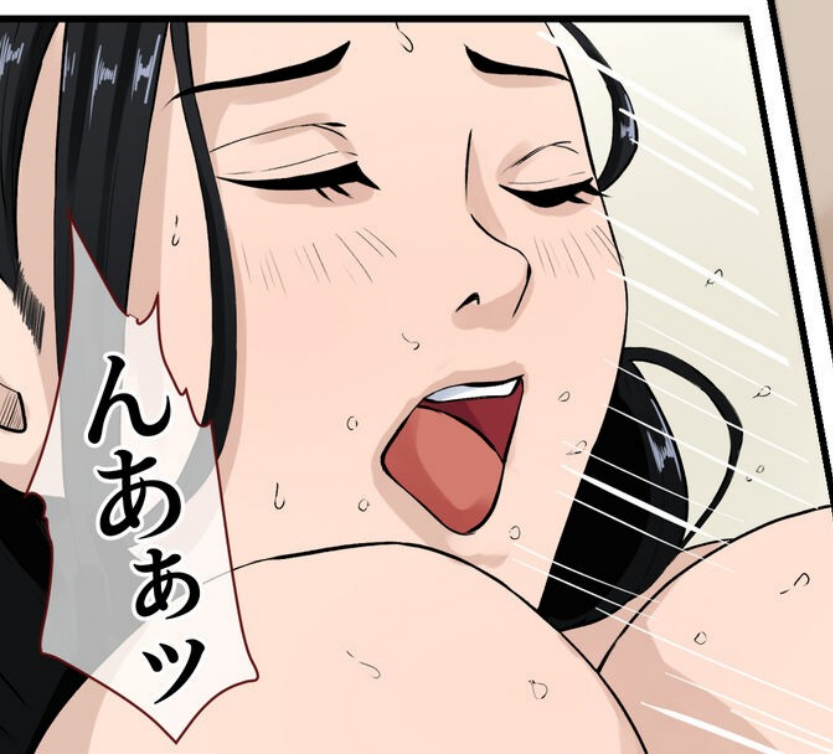
母さんの
マンコ...

ぬるぬるで...
すぐにちんぽ
入っちゃったね...?

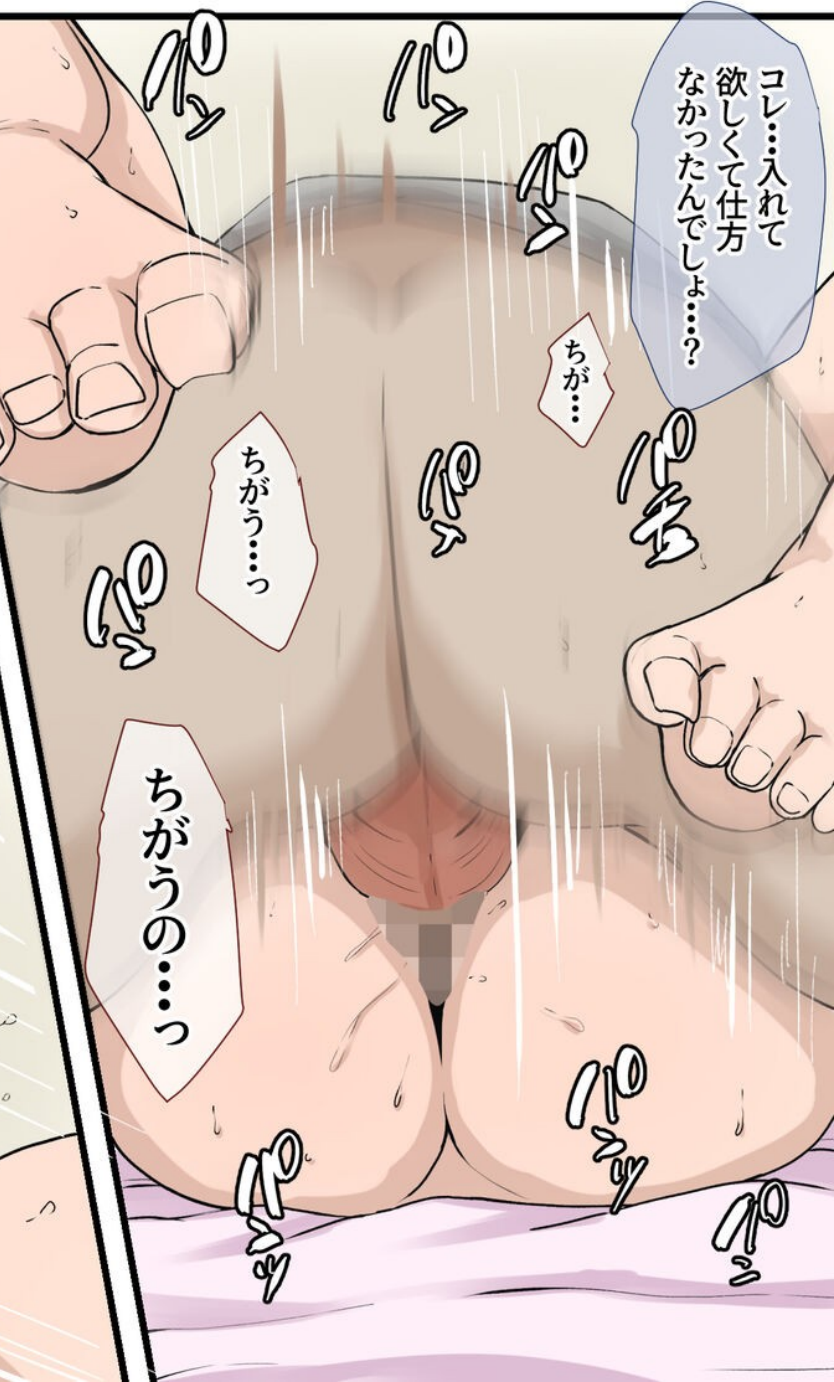


僕のちんぽ
嗅ぎながら

興奮してた
くせ。



んあぁッ

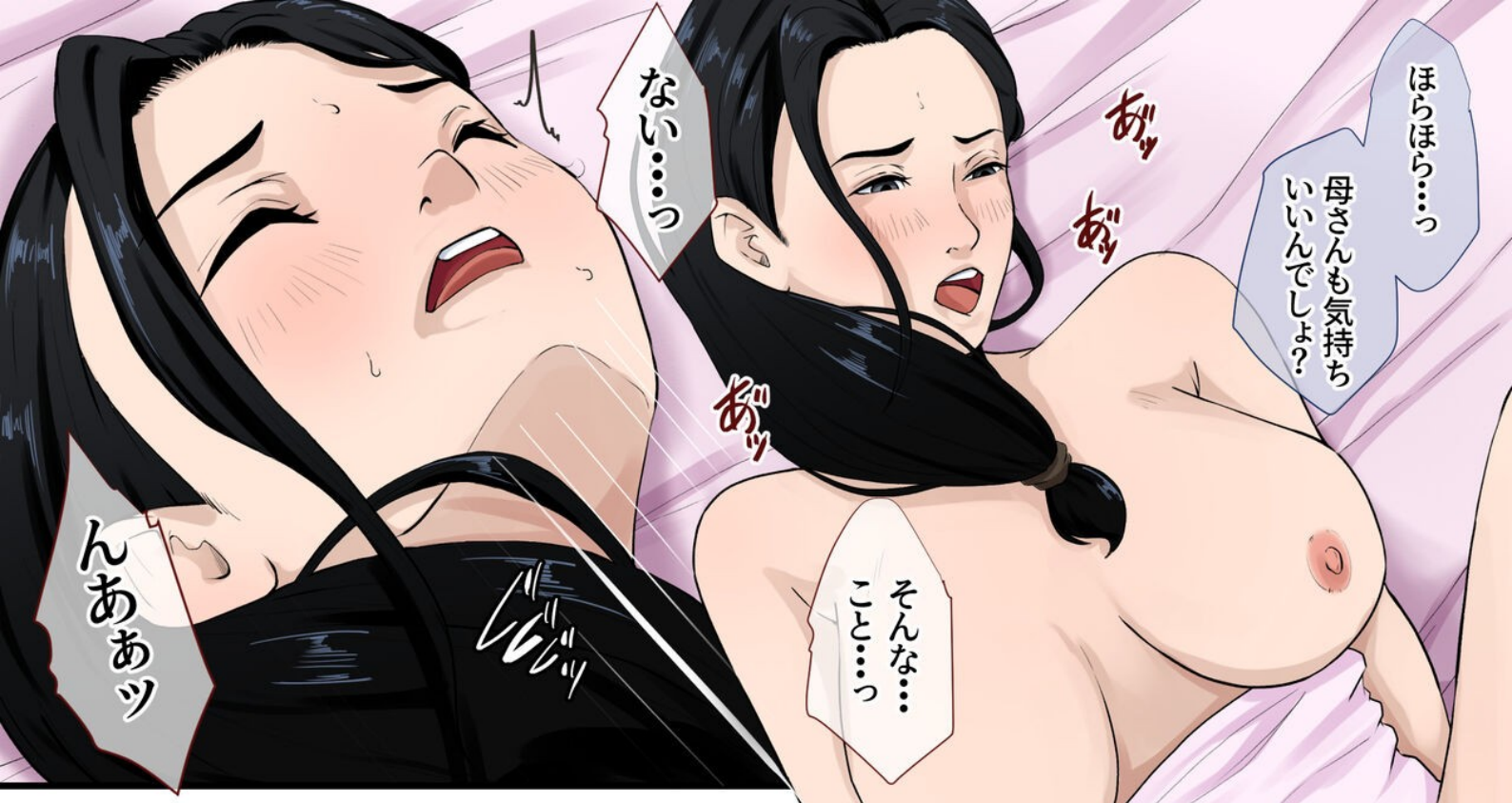


コレ...入れて
欲しくて仕方
なかったんでしょ...?

ちが...

ちがう...っ

ちがうの...っ



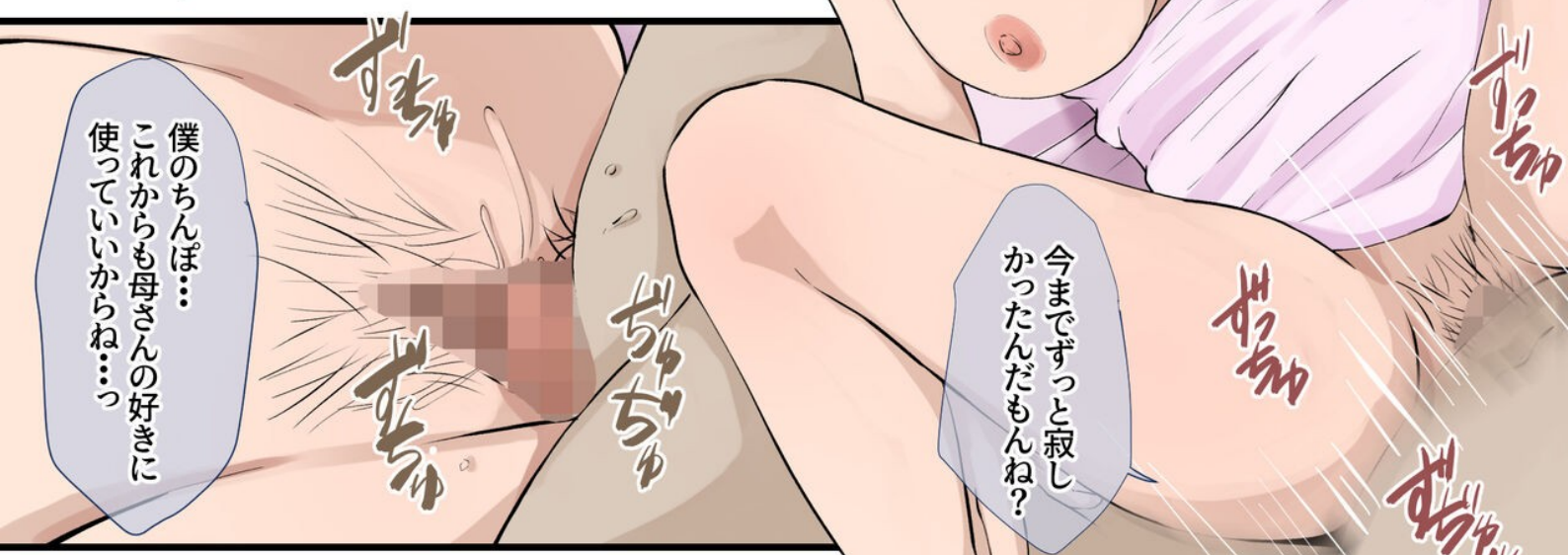
ない……っ

あッ
あッ

ほらほら……っ
母さんも気持ち
こらんでしょ……っ

そんな……
こと……っ

んああッ



ずちゅ

ずちゅ

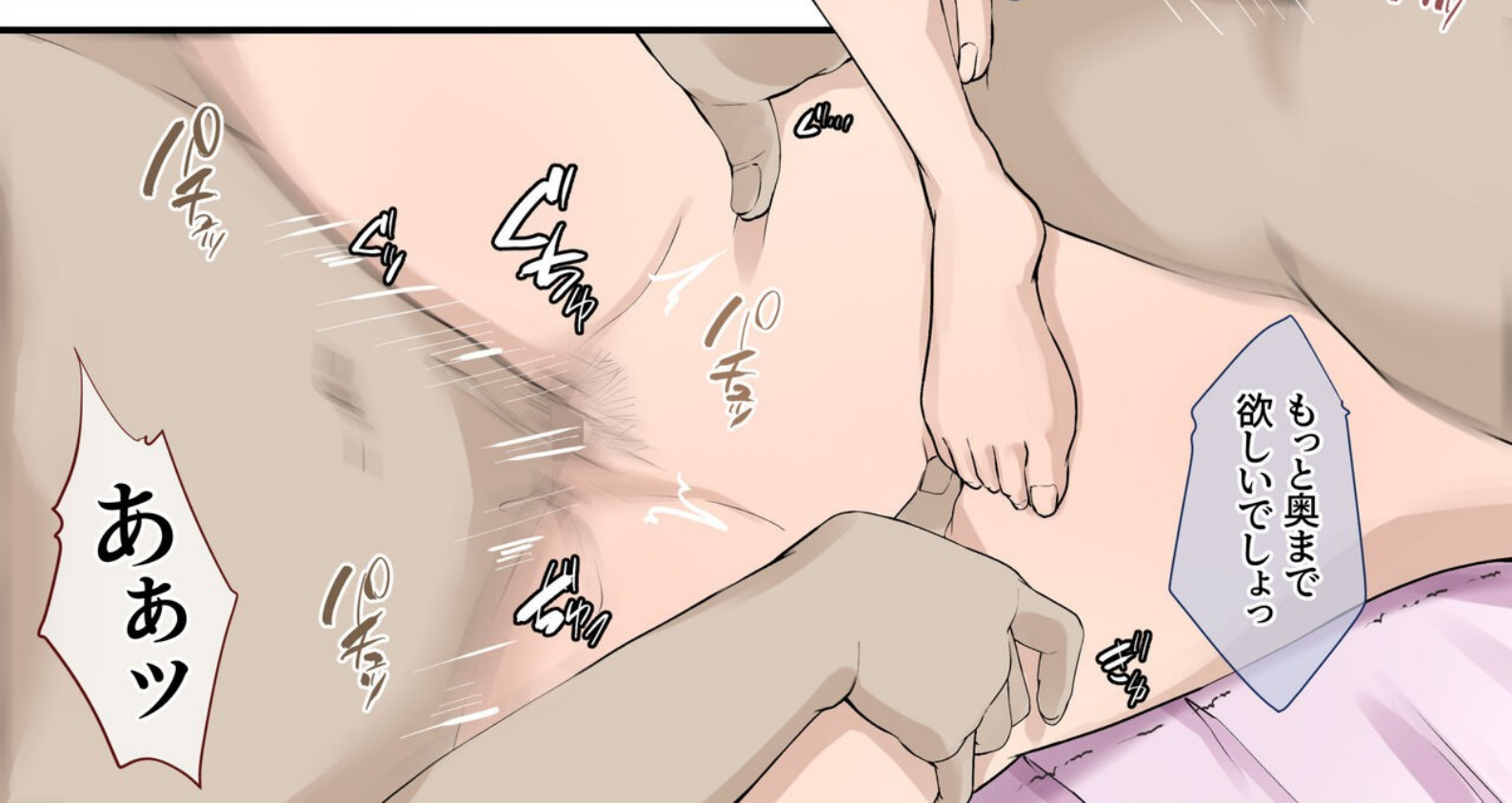
僕のちんぽ……
これからも母さんの好きに
使っていいからね……っ

今までずっと寂し
かったんだもんね？

ちゅちゅ

ずちゅ

ずちゅ



10分

4

10分

10分

10分

10分

ずちゅ

ああッ

もっと奥まで
欲しいでしょう

何がダメ
なんだか...

母さんが締めるから
すぐイッちやっただよ。

はあ...っ

はあ...っ

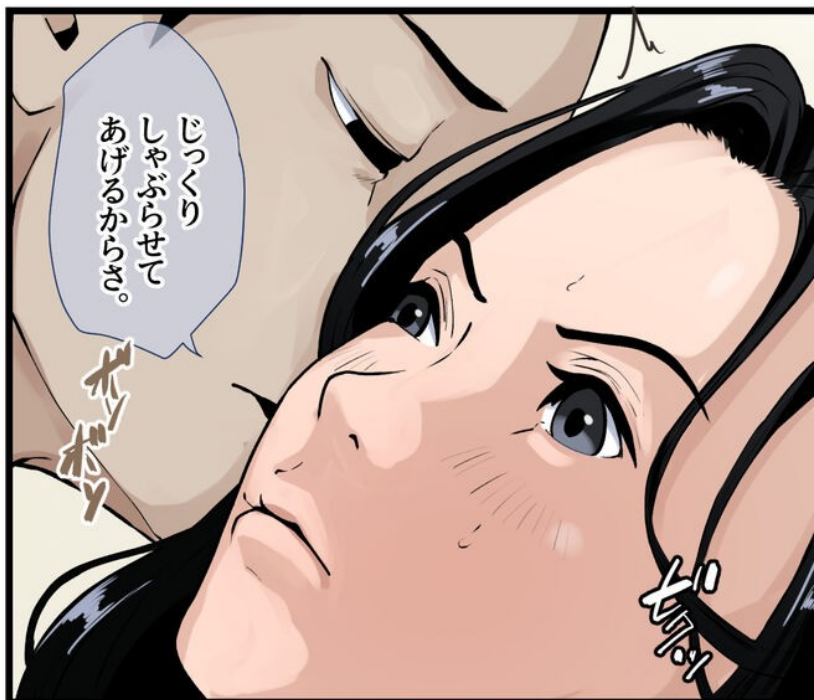
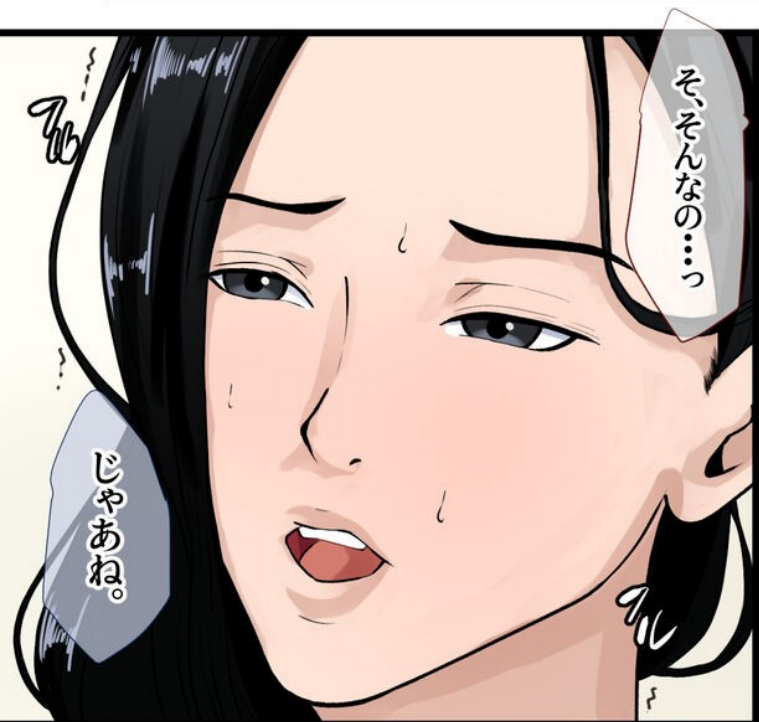
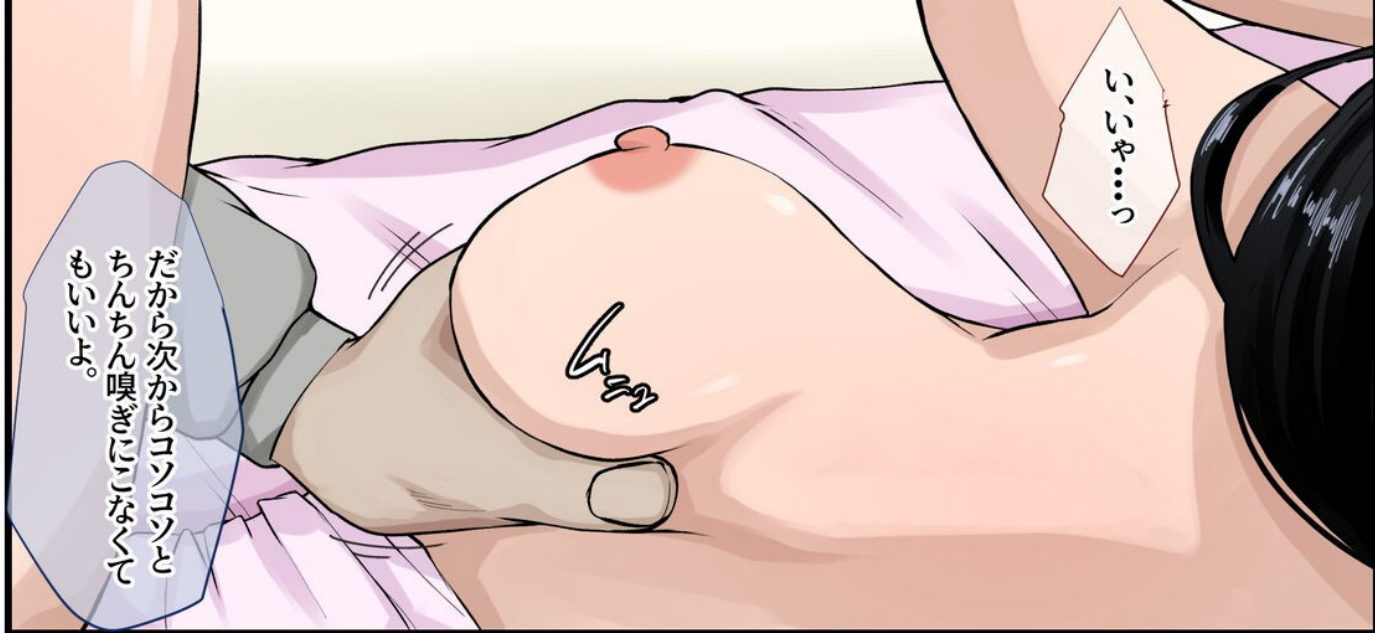
どうだった？

母さんが嗅ぎ
ながらオナニー
してた、ちんちん。

気持ち良か
ったでしょ？

これからは二人で我慢
しなくていいからね。

いつでも僕が
母さんを気持ちよく
させてあげるから。



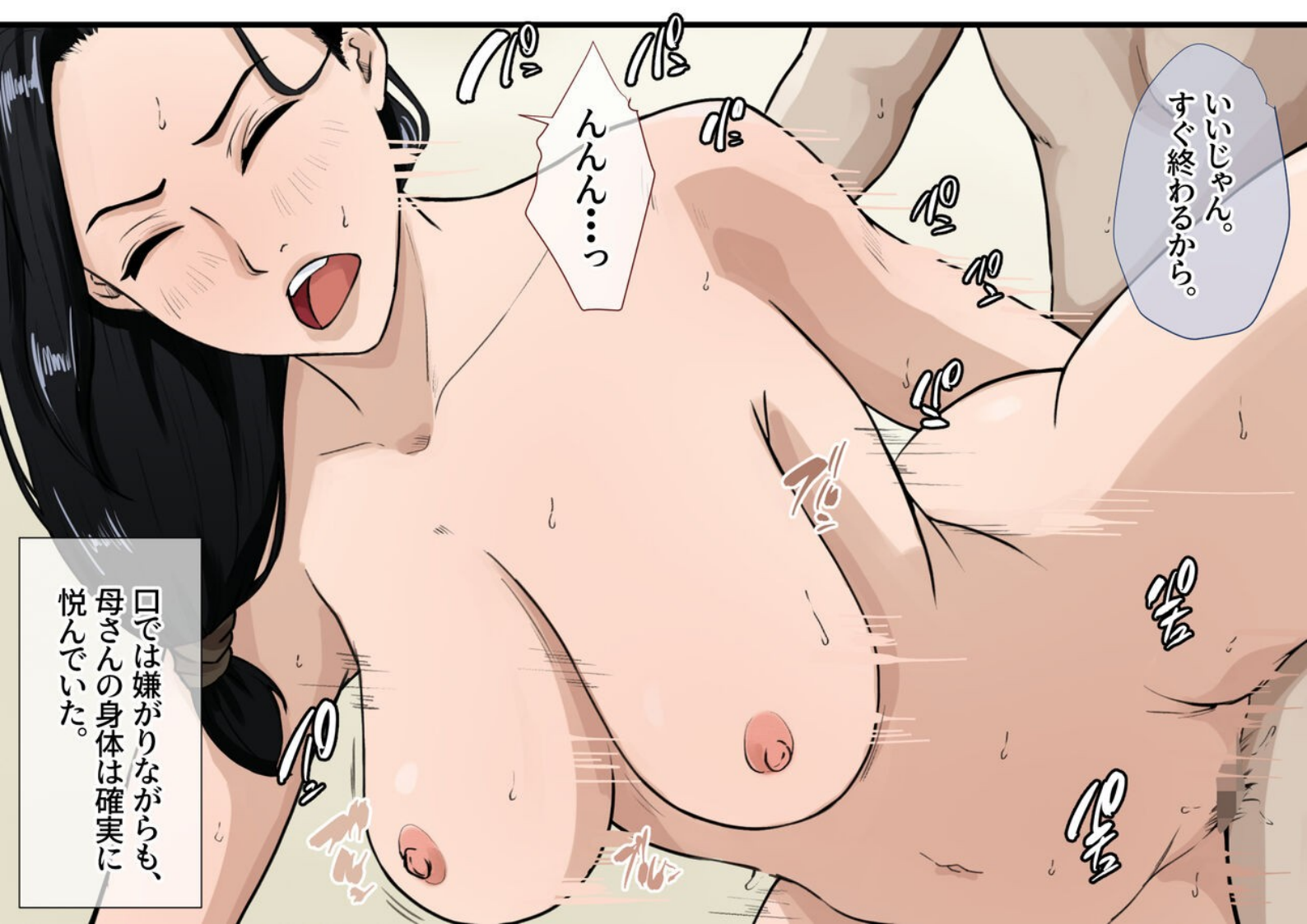


ダメ…よっ
お母さんパートに
行かないと…っ



次の日から僕と母さんは
毎日の様にセックスした。

あ…ん
ん…っ
あ…ん
あ…ん



ん…ん…っ

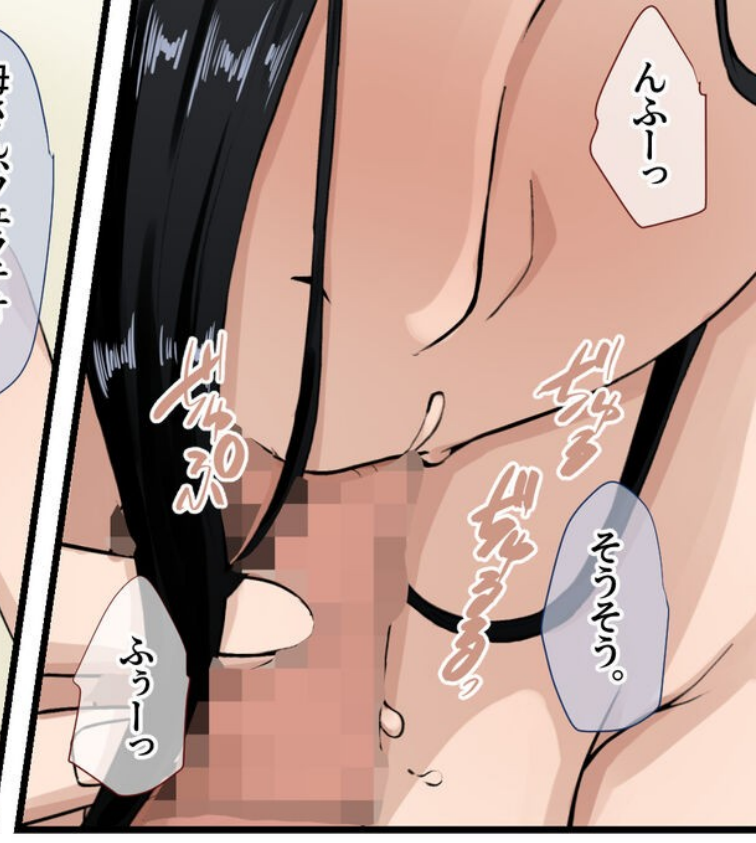
いいじゃん。
すぐ終わるから。

回では嫌がりながらも、
母さんの身体は確実に
悦んでいた。



ちゃんと僕を射精させられたらその後マンコに挿れてあげるからね。

母さんフェラチオ上手になってきたね。



んふーっ

んふーっ。

ふうーっ



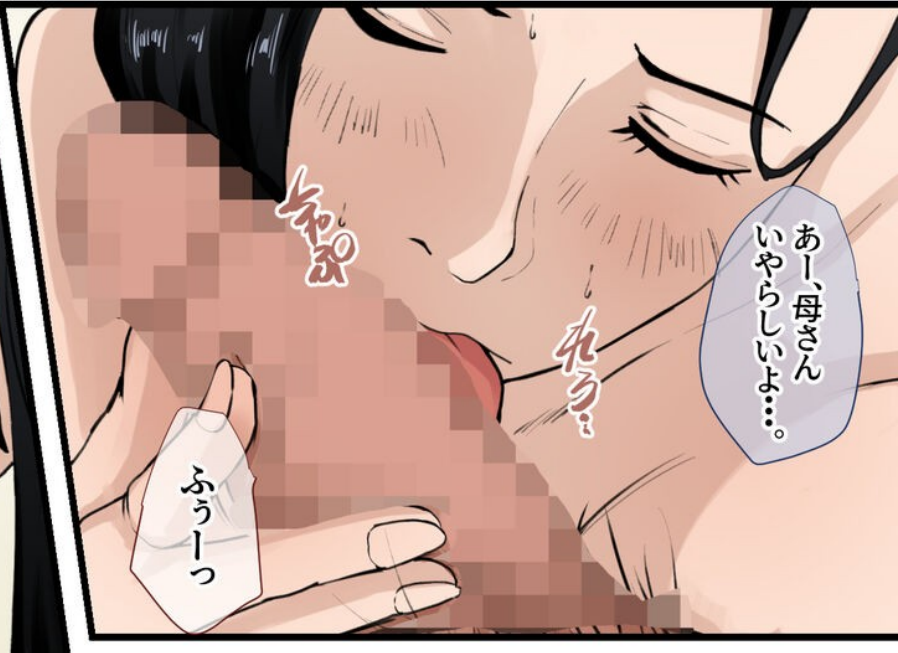
ああ...
出そう...。

んぐう...っ

舌の使い方が最高だよ。

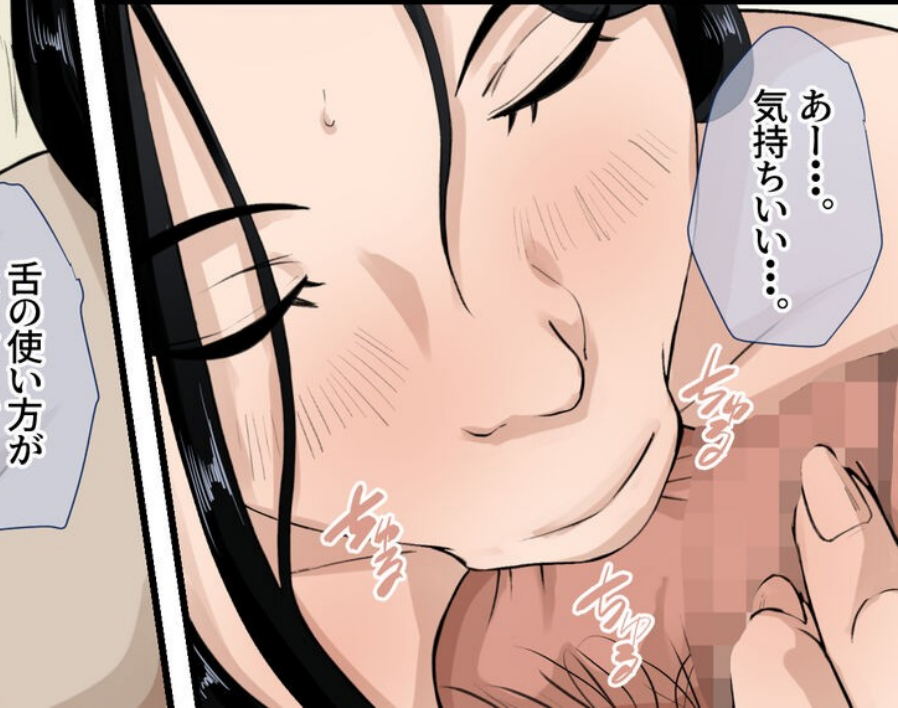
あ...いく。

いく...
いく...
いく...



あー母さん
いやらしいよ...。

ふうーっ



あー...
気持ちいい...。

次第に母さんも僕を拒まなくなっていた。

はあ……っ

はあ……っ

母さん、気持ちいい
気持ちいい……っ
母さんの中、すいっく……っ

はあ……っ

はあ……っ

はあ……っ

はあ……っ

ああ……っ
母さん出すよ……っ

……っの……っ
出しちゃうよ……っ

だ……だめよ……

中は……
だ……っ

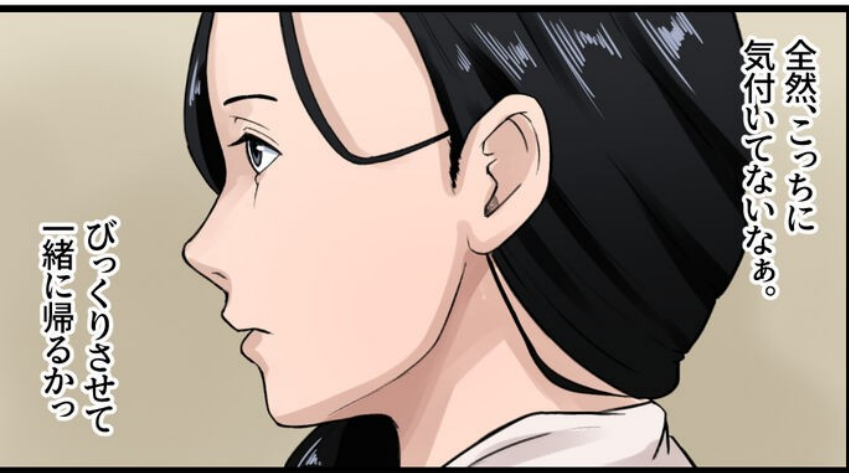
んんぐうッ!!

母さんと僕は愛し合っていた……



あの日…。

そう…思っていた。



全然、こっちに
気付いてないなあ。

びっくりさせて
一緒に帰るかつ



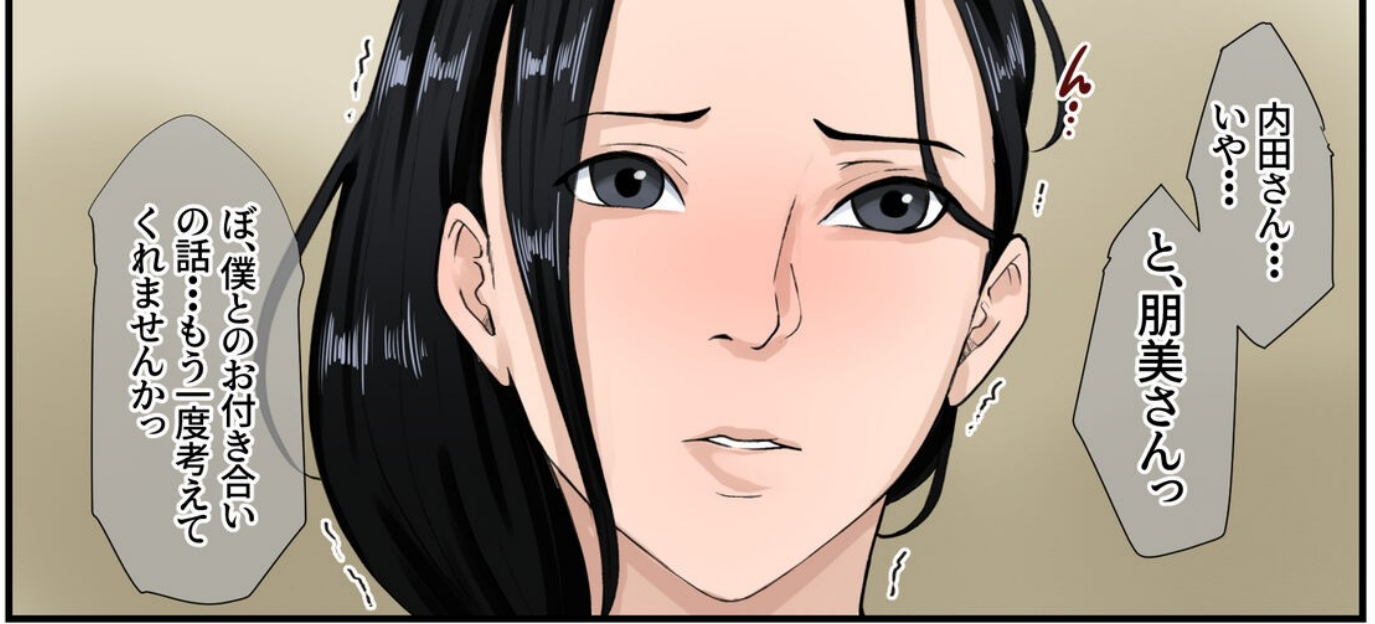
ん？
母さん…？

ん？
ん？

あし。
パートの帰りか。



誰？
あれ…。



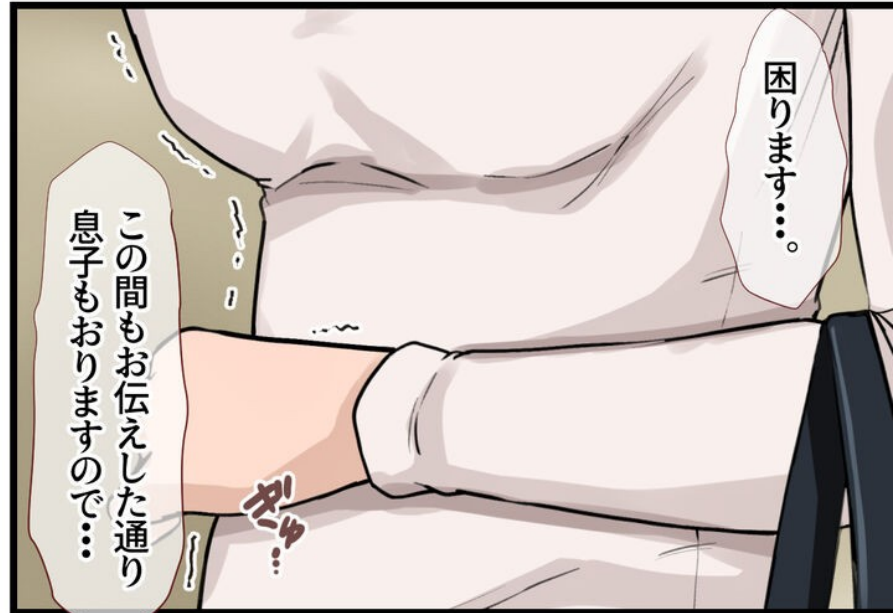
内田さん...
いや...

と、朋美さんっ

ぼ、僕とのお付き合いの
話...もう一度考えて
くれませんかっ

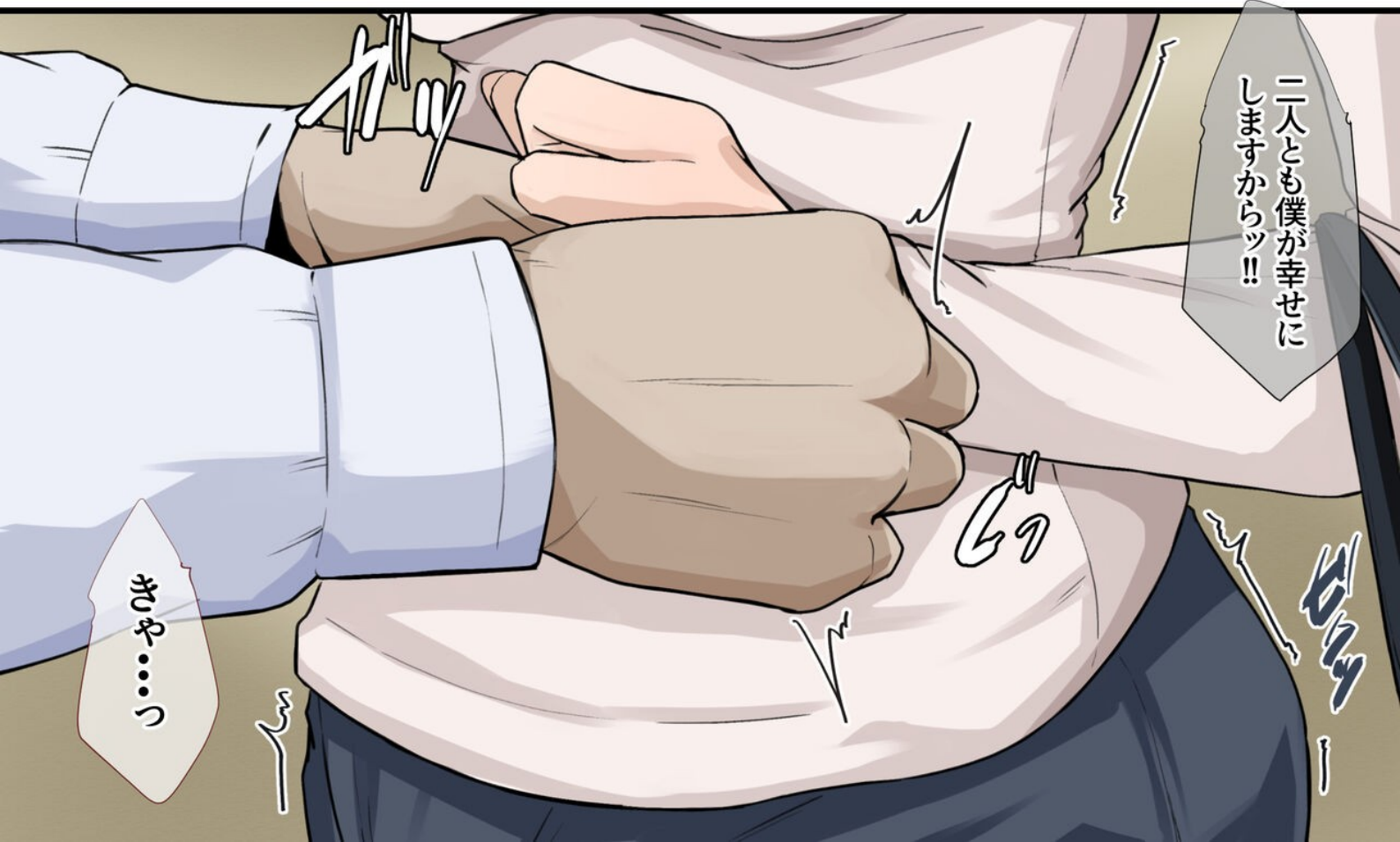


もちろん、正人君の事も
ちゃんと面倒みますっ



困ります...

この間もお伝えした通り
息子もおりますので...



二人とも僕が幸せに
しますからッ!!

きゃ...



しっかり手なんて
握り合って...。

付き合ってる...??



ふんげんな。

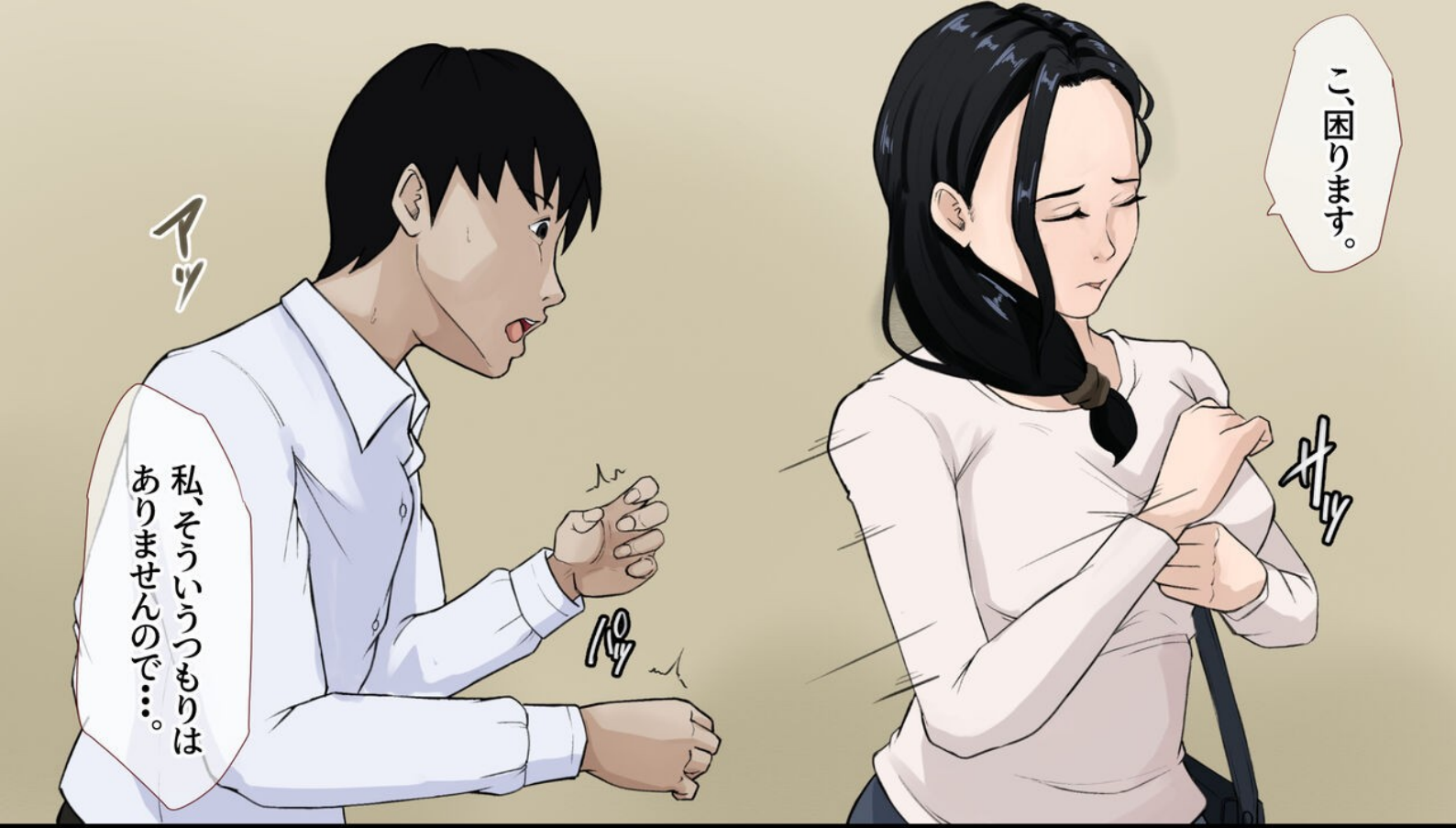
今さら新しい父親なんて
要らねえぞ…っ

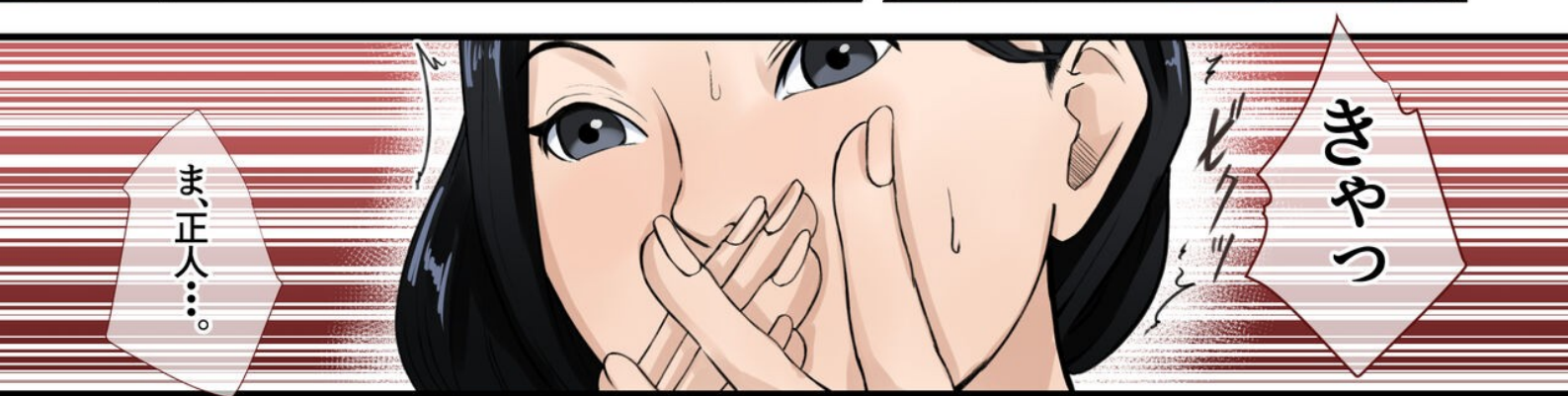
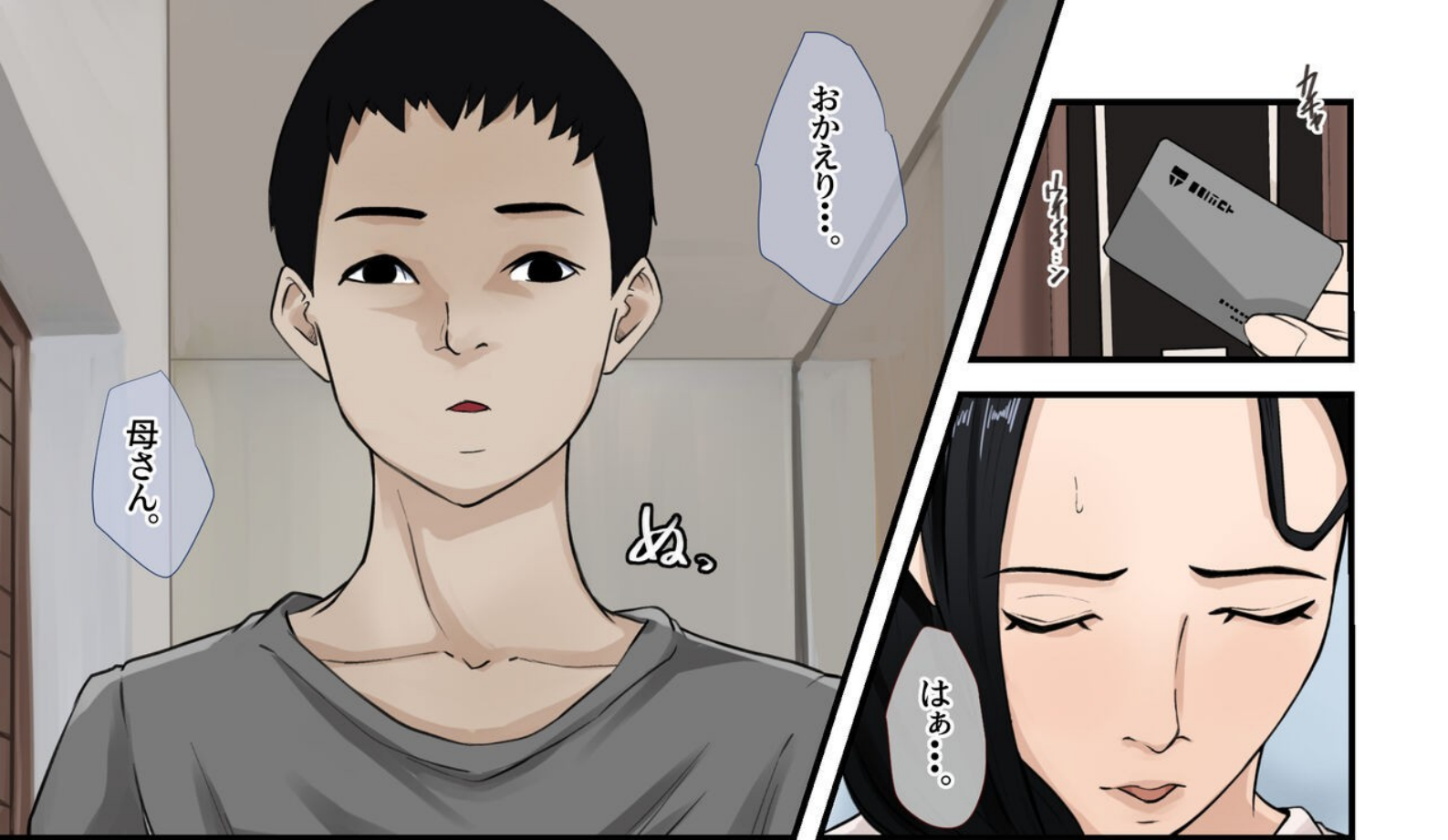
母さん…
何やってんだよ…っ

あれだけ毎日抱えて
あげてるってさうなのかい

…おしおきが
必要だな…。







毎日毎日、僕が
母さんの事……

愛してるだろ……ッ

うんうん……ッ

い、嫌……ッ

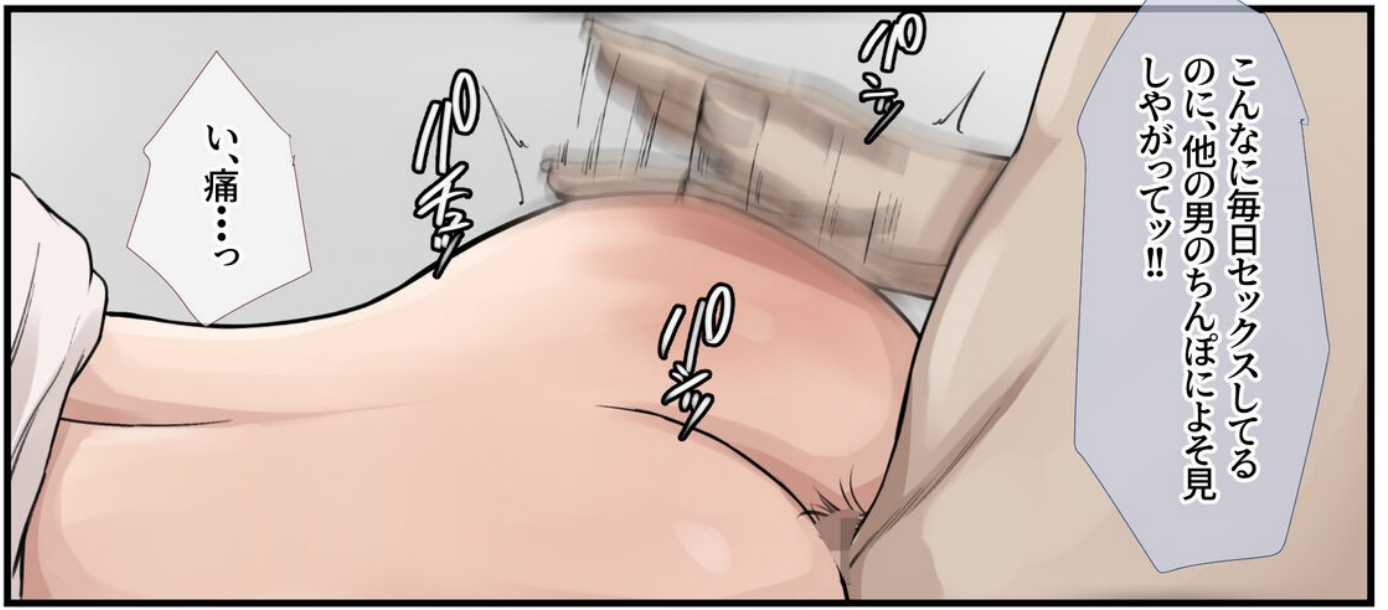
今すぐ脱げッ

正人……ッ
落ち着いて……ッ



ん...ッ

んん...ッ



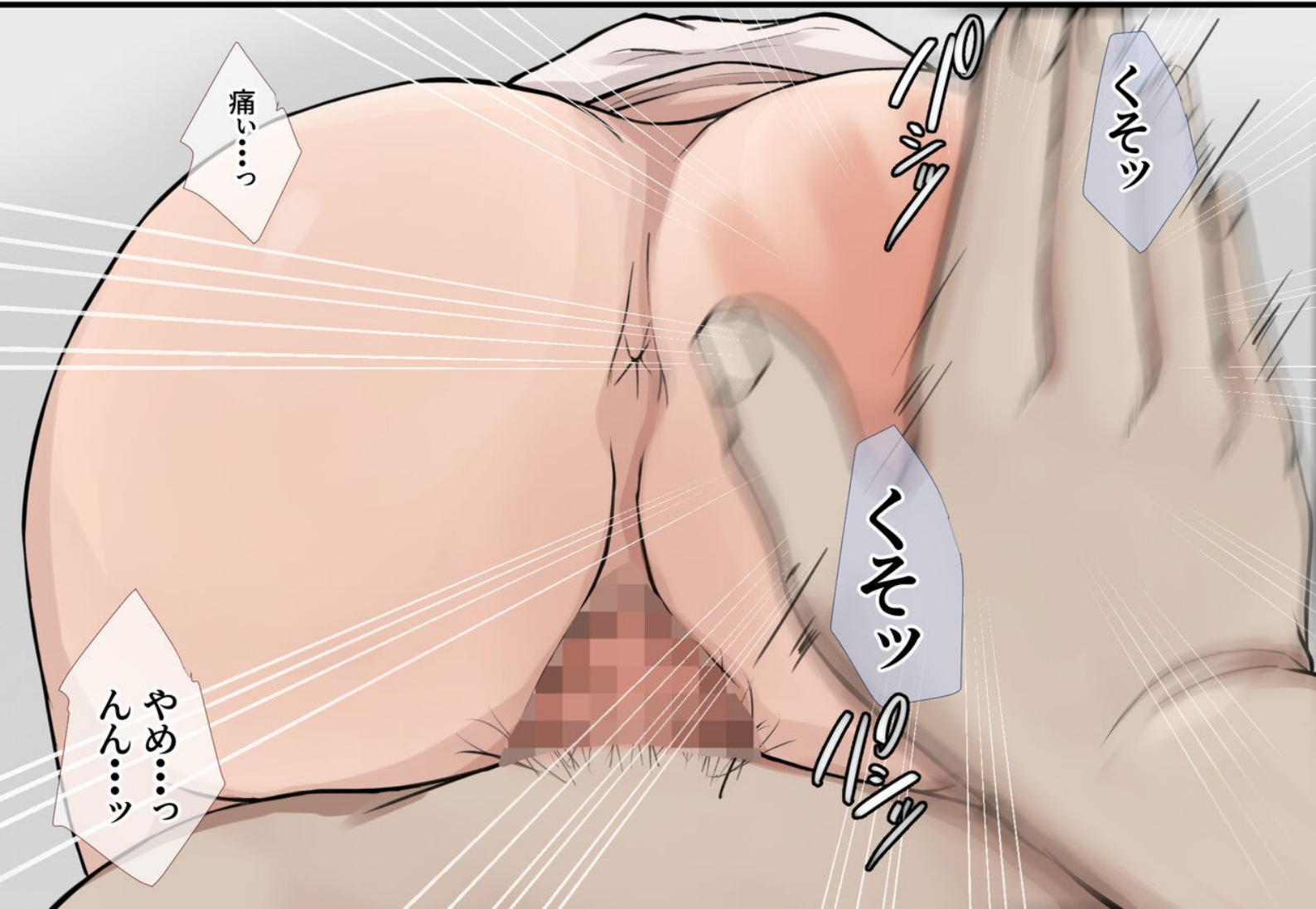
こんなに毎日セックスしてるのに、他の男のちんぽによそ見しやがってッ!!

い、痛い...っ

んんん

んんん

んんん



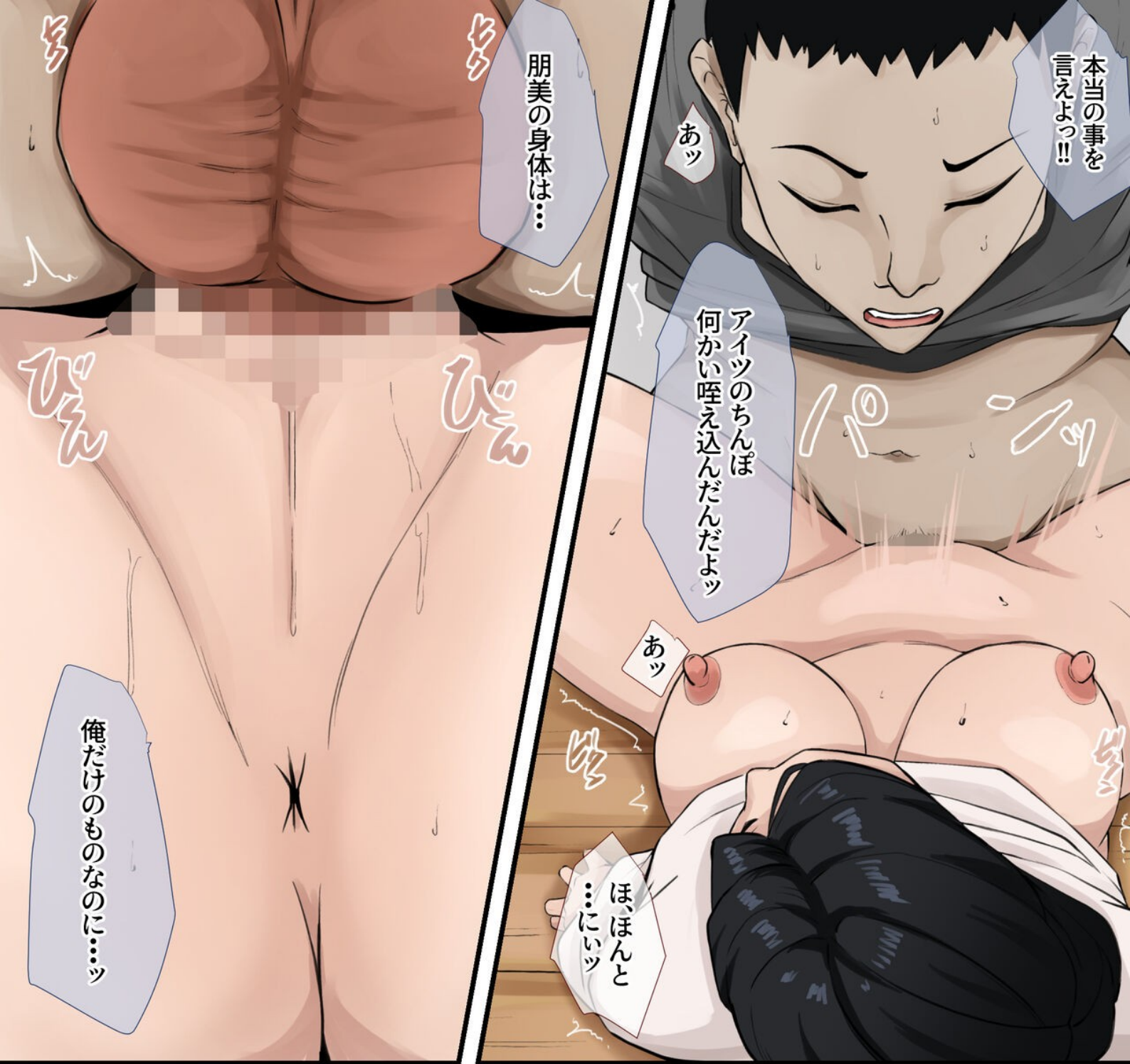
くそッ

くそッ

んんん

痛い...っ

やめ...っ
んん...ッ



本当の事を
言えよッ!!

あッ

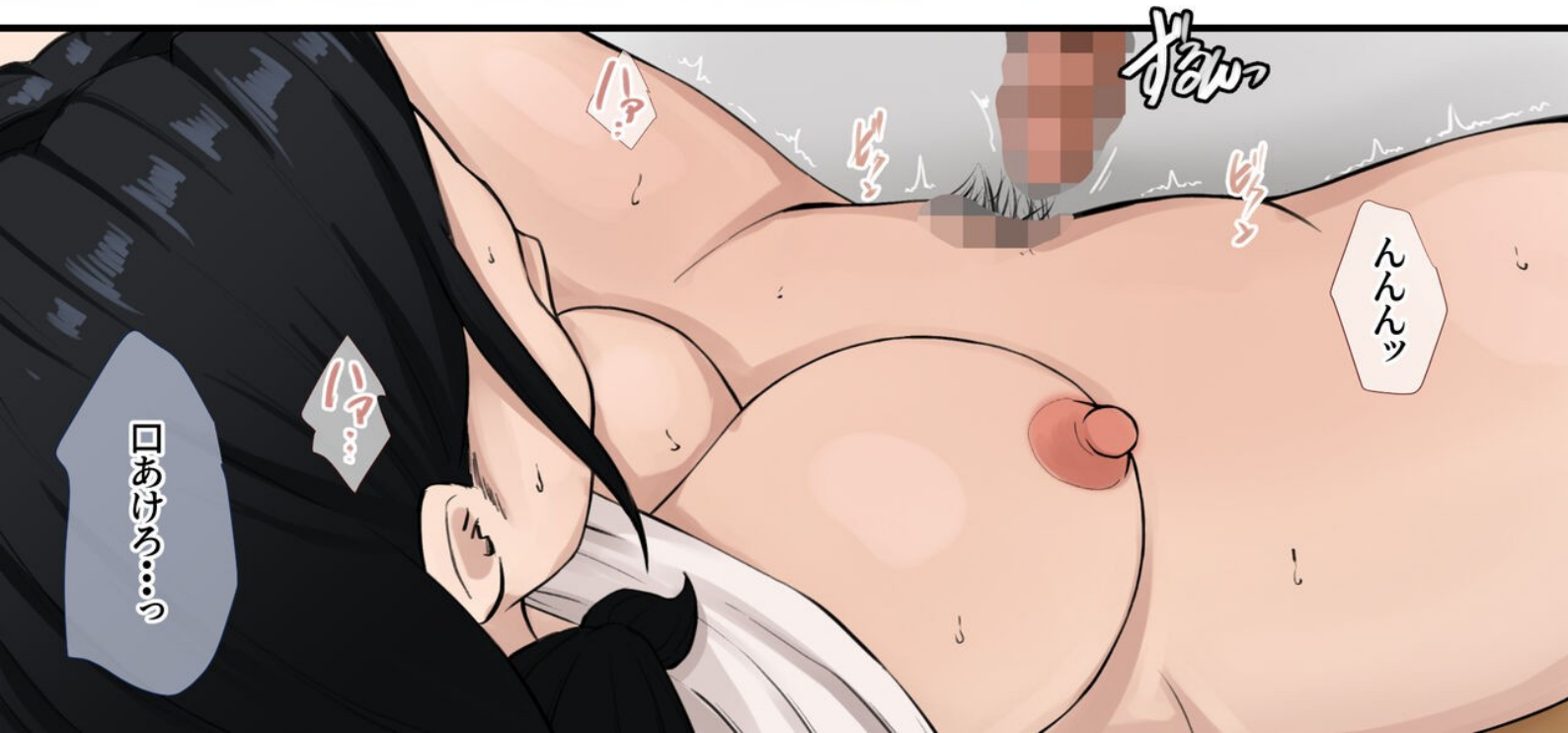
朋美の身体は…

アイツのちんぽ
何かい啜え込んだんだよッ

あッ

ほほんと
…にいッ

俺だけのものなのこ…ッ



んんんッ

回あけろ…ッ

ハア…



この口でアイツにも
してやったんだろ…

んんん…
んんん…

ハ？

ハ？

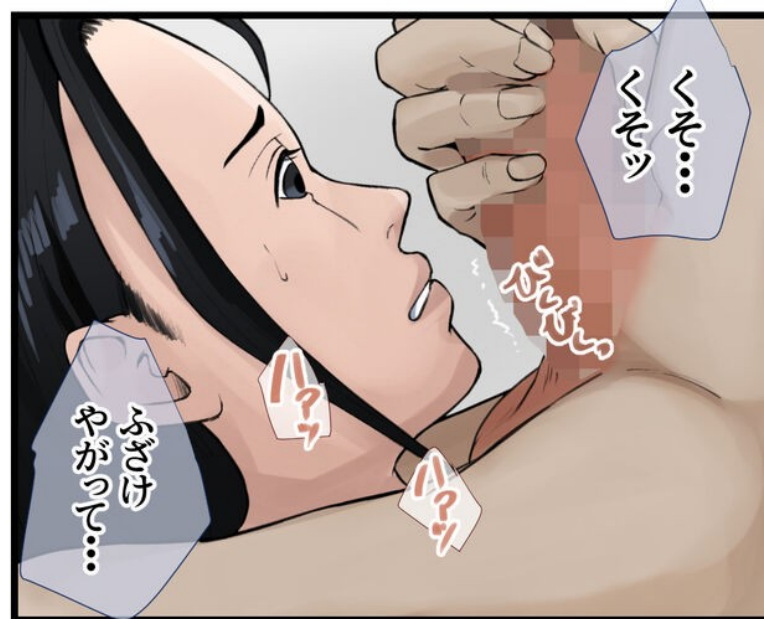


俺のちんぽでちゃんと
上書きしてやる…ッ

ぬん

んん…

んん…



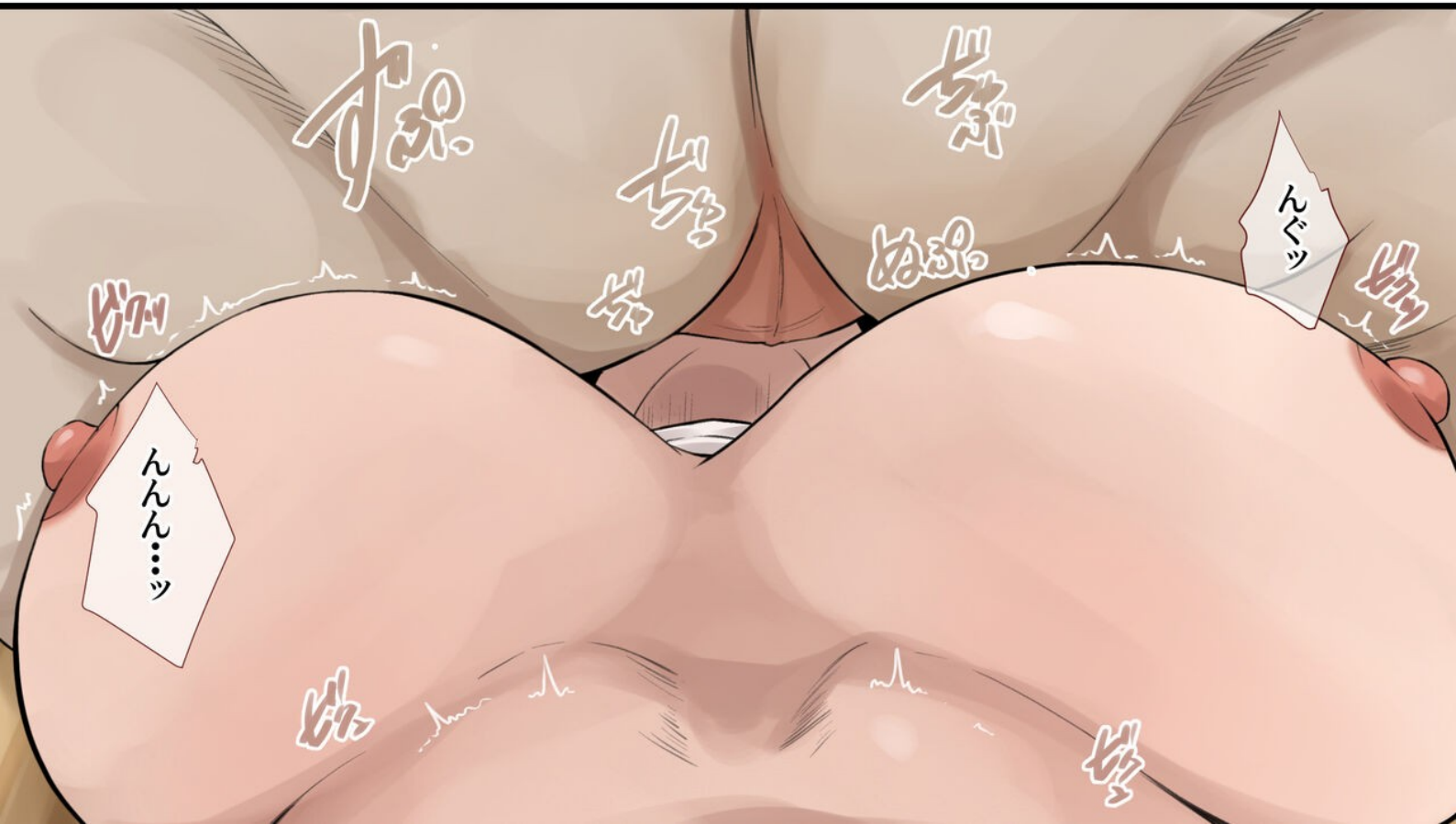
くそ…
くそッ

ぬん

やがって…

ハ？

ハ？



んん…

んん…

ぬん

ぬん

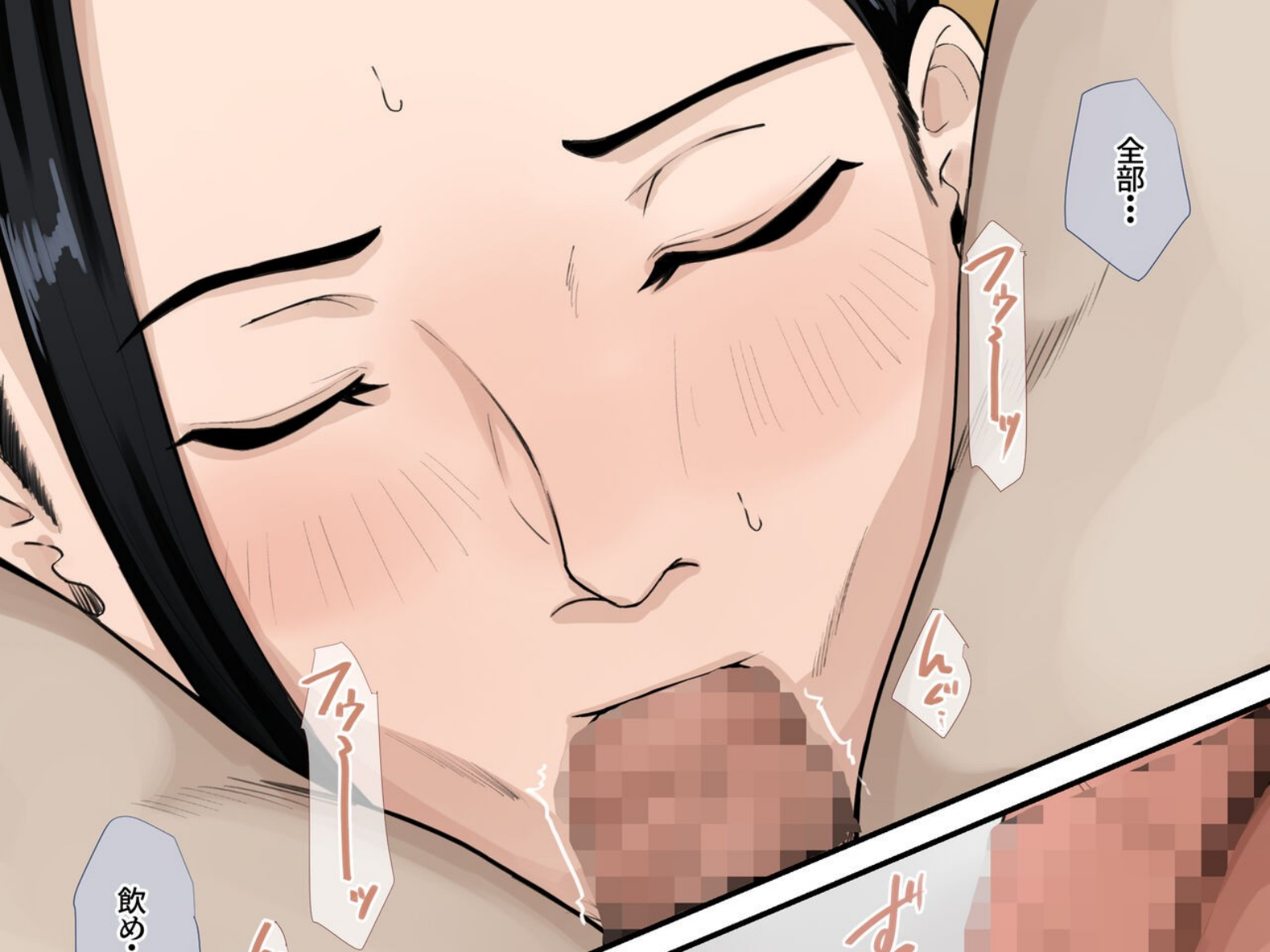
ぬん

ぬん

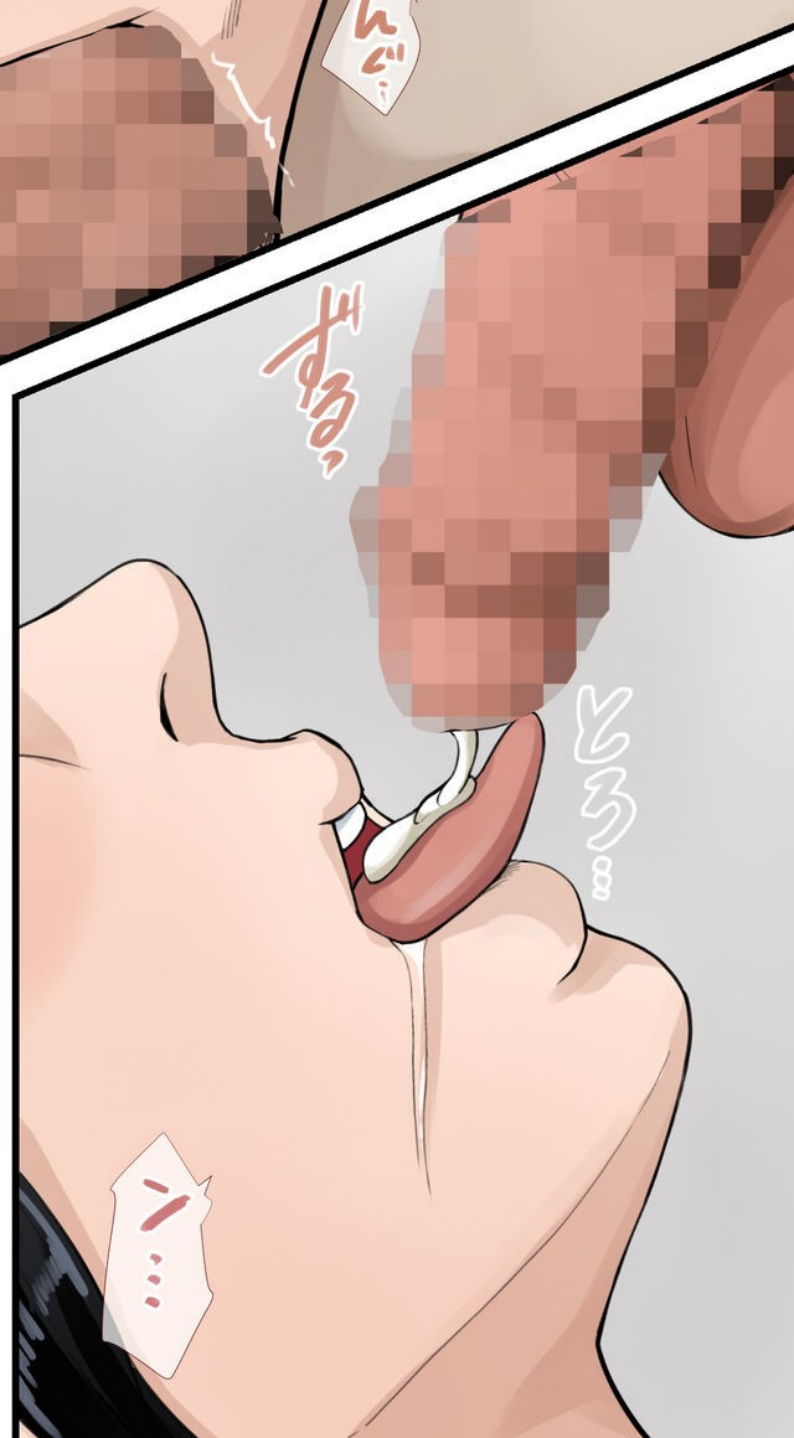
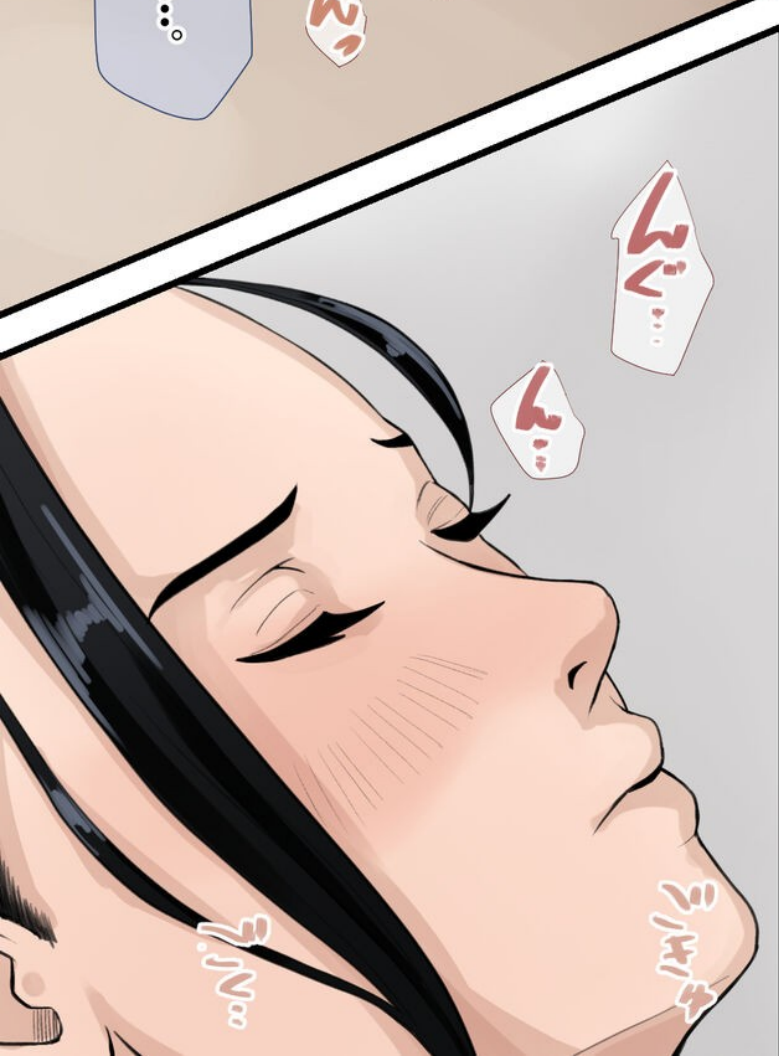
ぬん

ぬん

ぬん



飲め...





ま、正人…
聞いて…

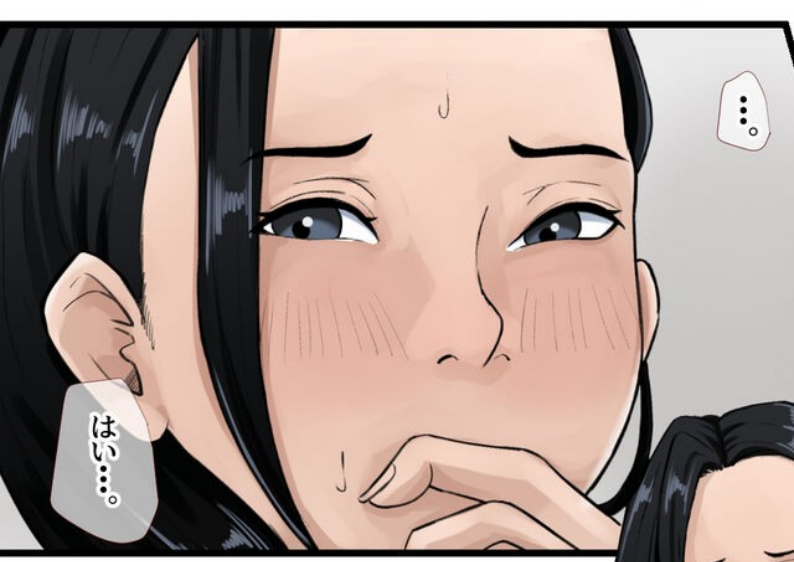
ハア…

ほんとに
何もしてないの…

ハア…

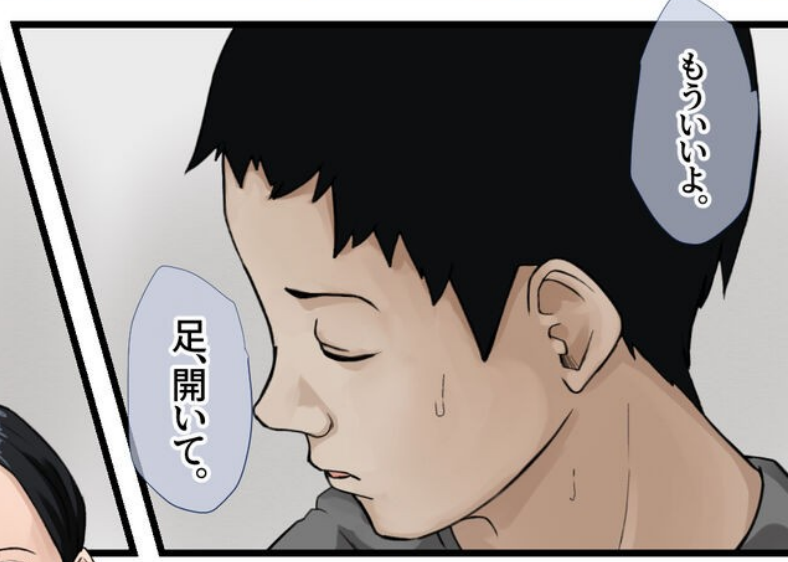
んん

私は…
正人がいれば…



…

は…



もうさよなら。

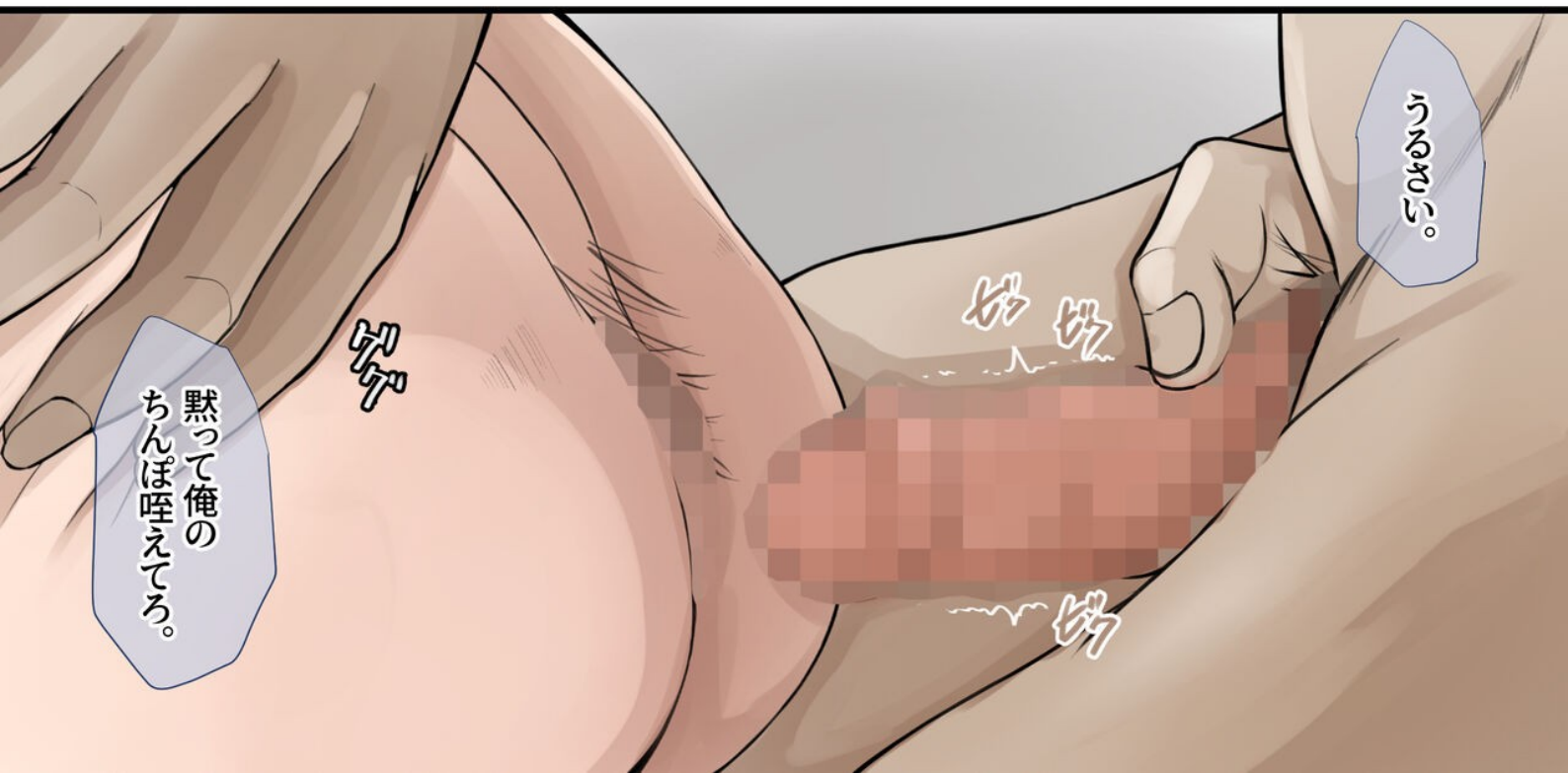
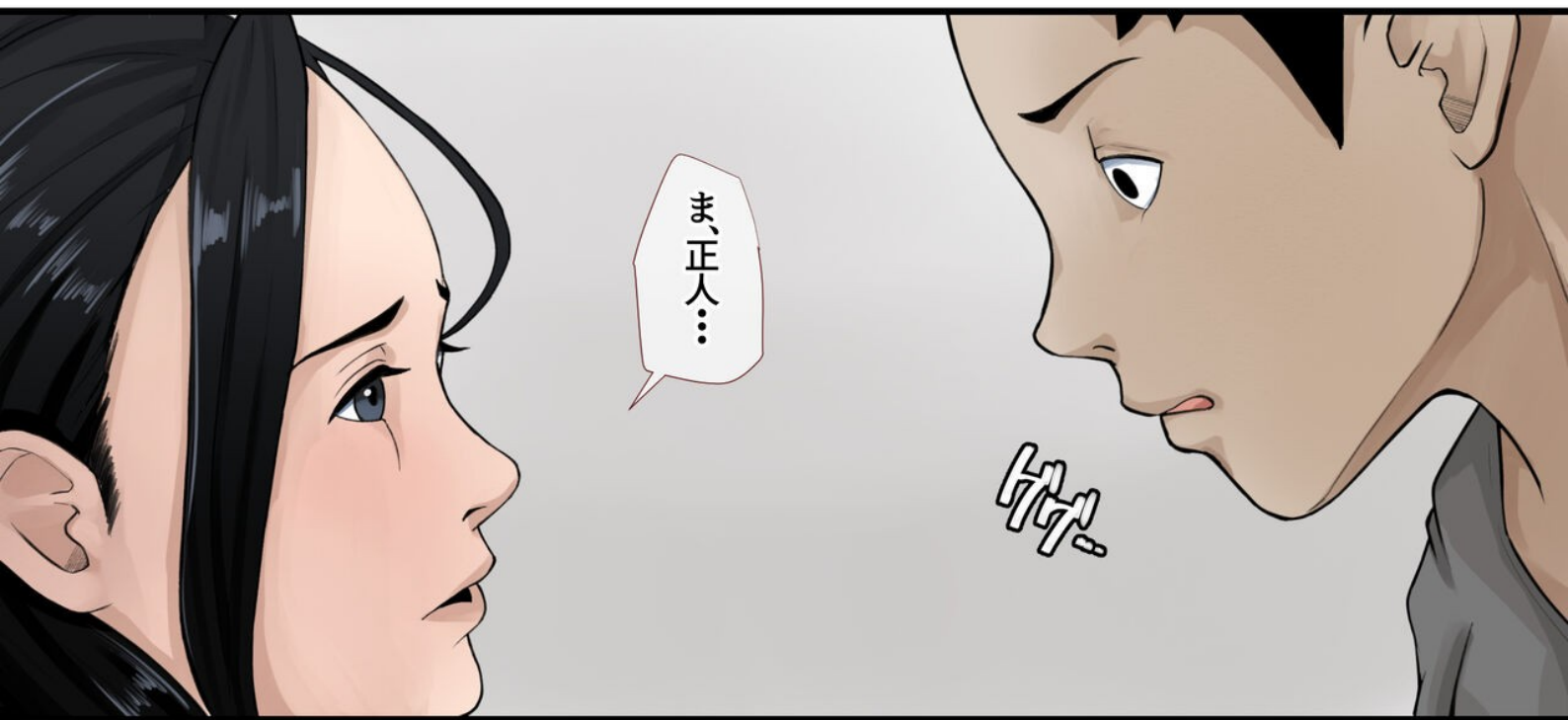
足、開いて。



んん

はあ…

ん





はあ...っ

すい...っ

さっき出したばかりなのに...っ

グッ

はあ...っ

あっ

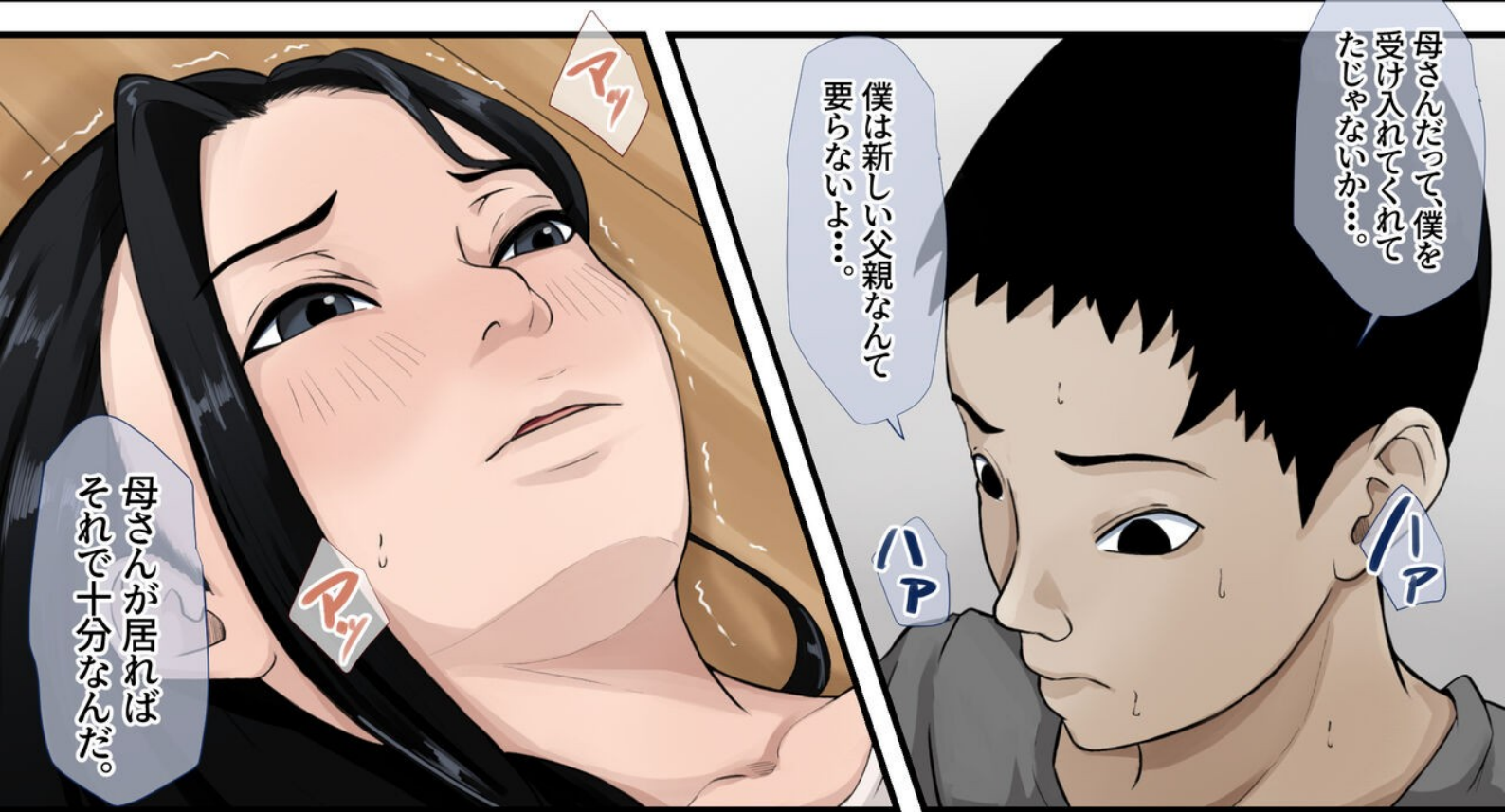
あっ

あっ



僕はこんなにも
母さんを愛してるのに...

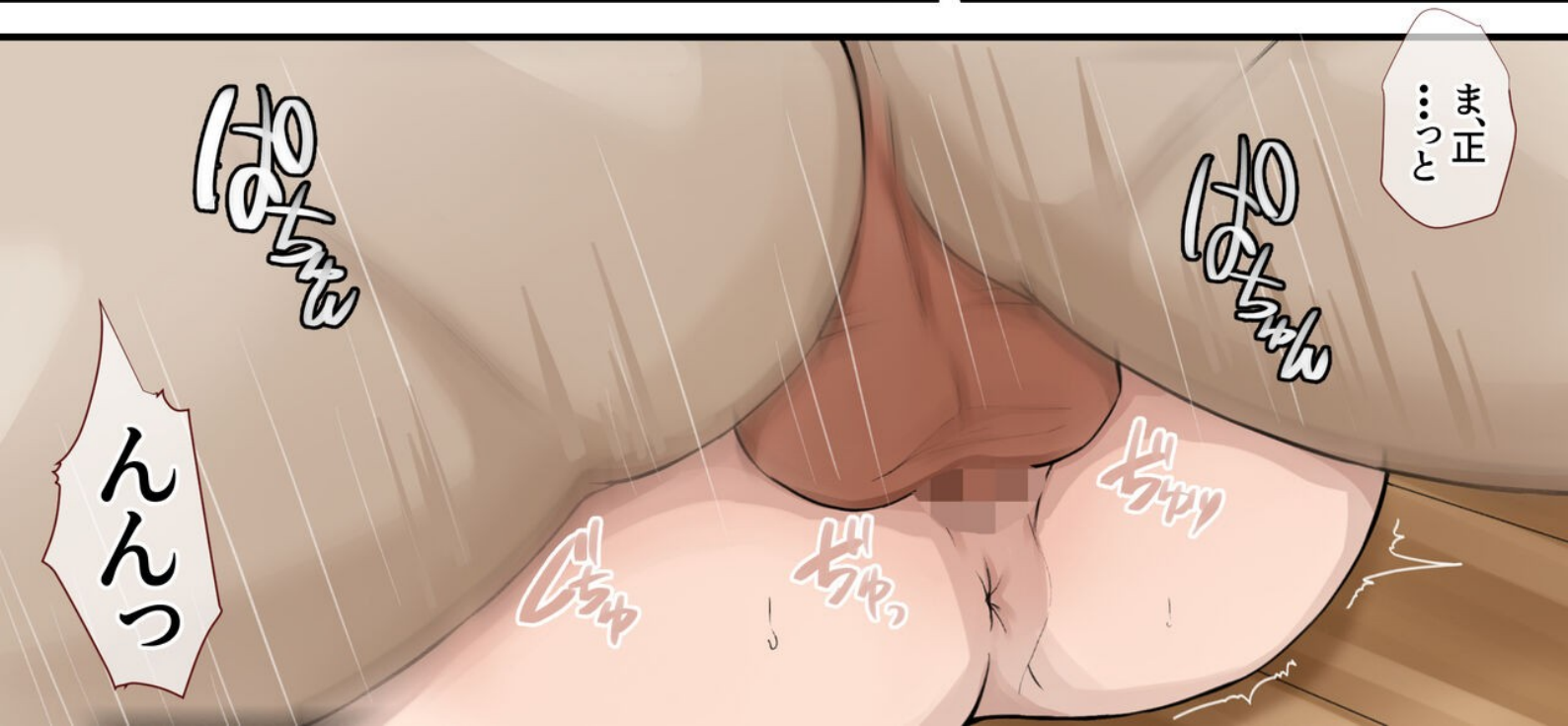
なのに、
なんで...



母さんだって僕を
受け入れてくれて
たじゃないか...

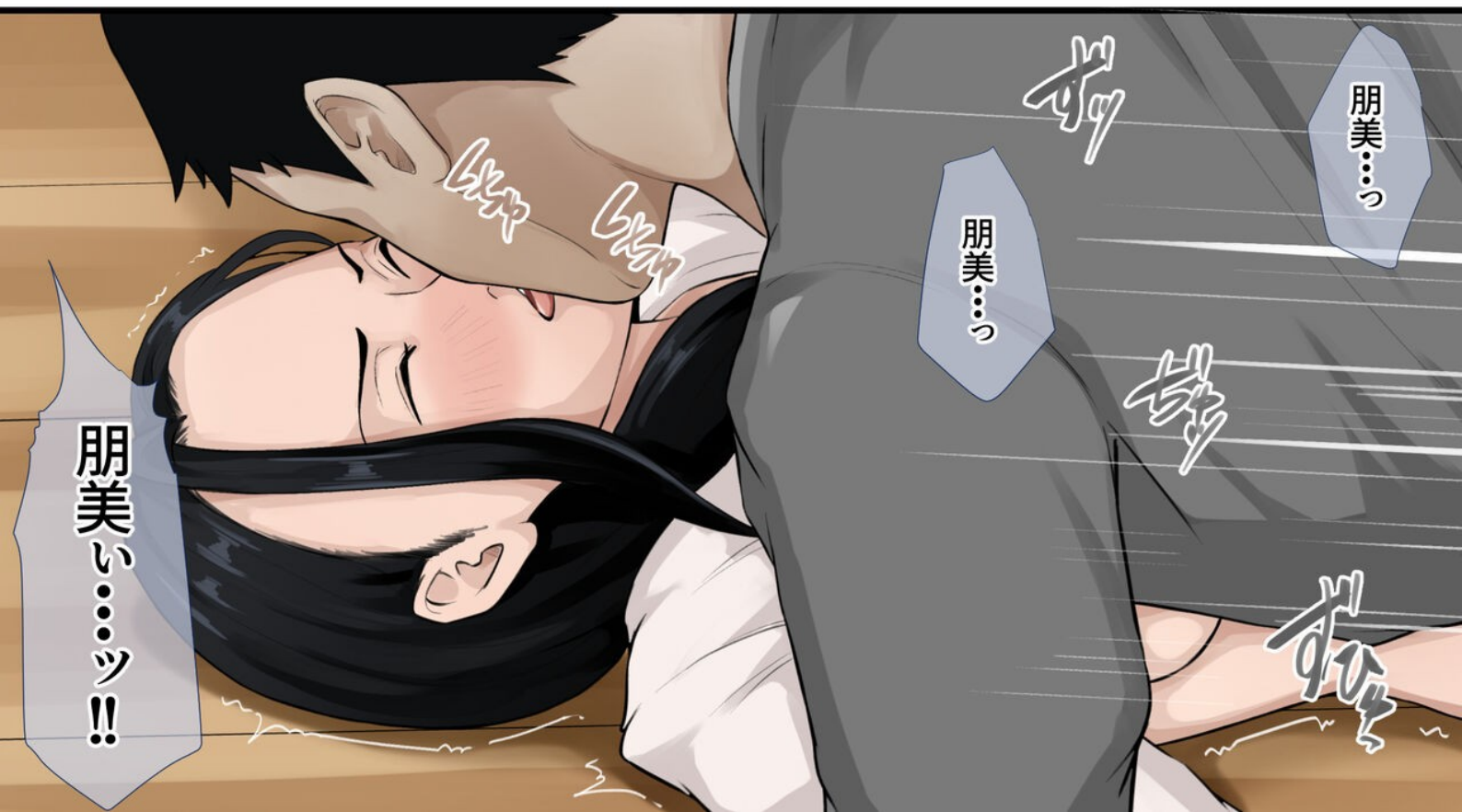
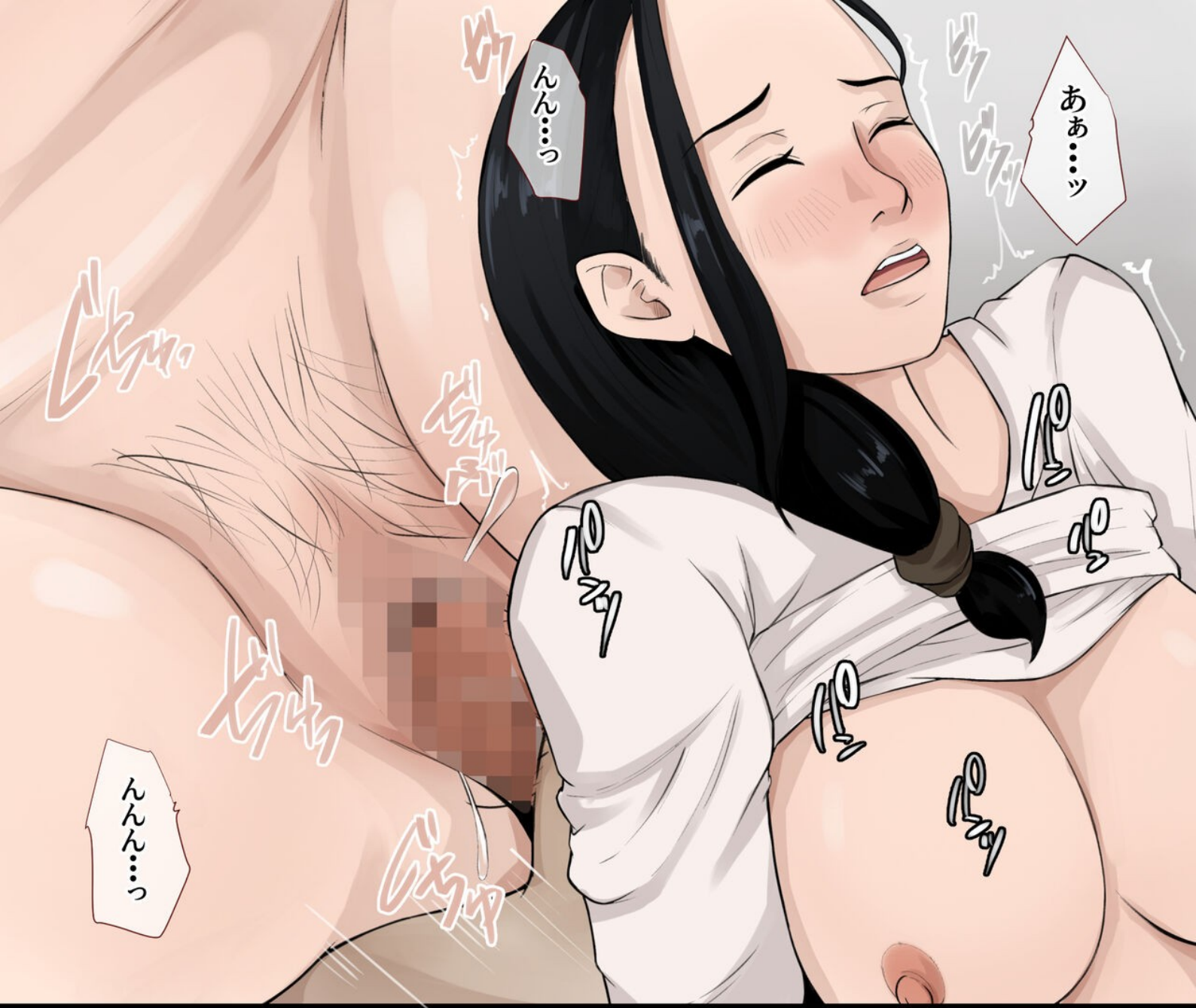
僕は新しい父親なんて
要らないよ...

母さんが居れば
それで十分なんだ。



ま、正
...と

んんっ



朋美い…。
このまま出すぞ…。
いいな…っ？

朋美っ

…はい。

はあ…っ

もっと膣締めろっ

はあ…っ

俺の精子
全部吸い取れっ

朋美いッ

ん…
んぐう…ッ





あー

びゅん

あーあー!!

びゅんびゅん

びゅん

びゅん

びゅん

びゅん

びゅん

びゅん

びゅん

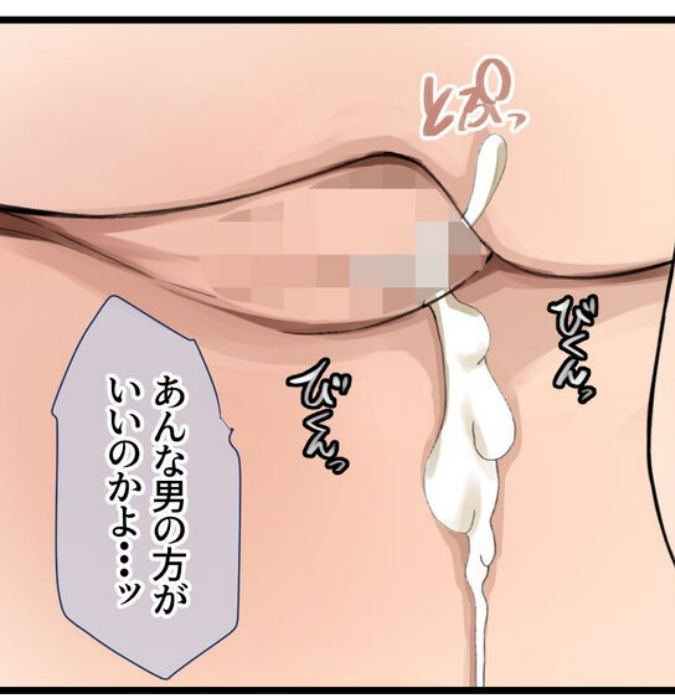
びゅん

びゅん



僕じゃダメなの…っ？

トロ…ッ

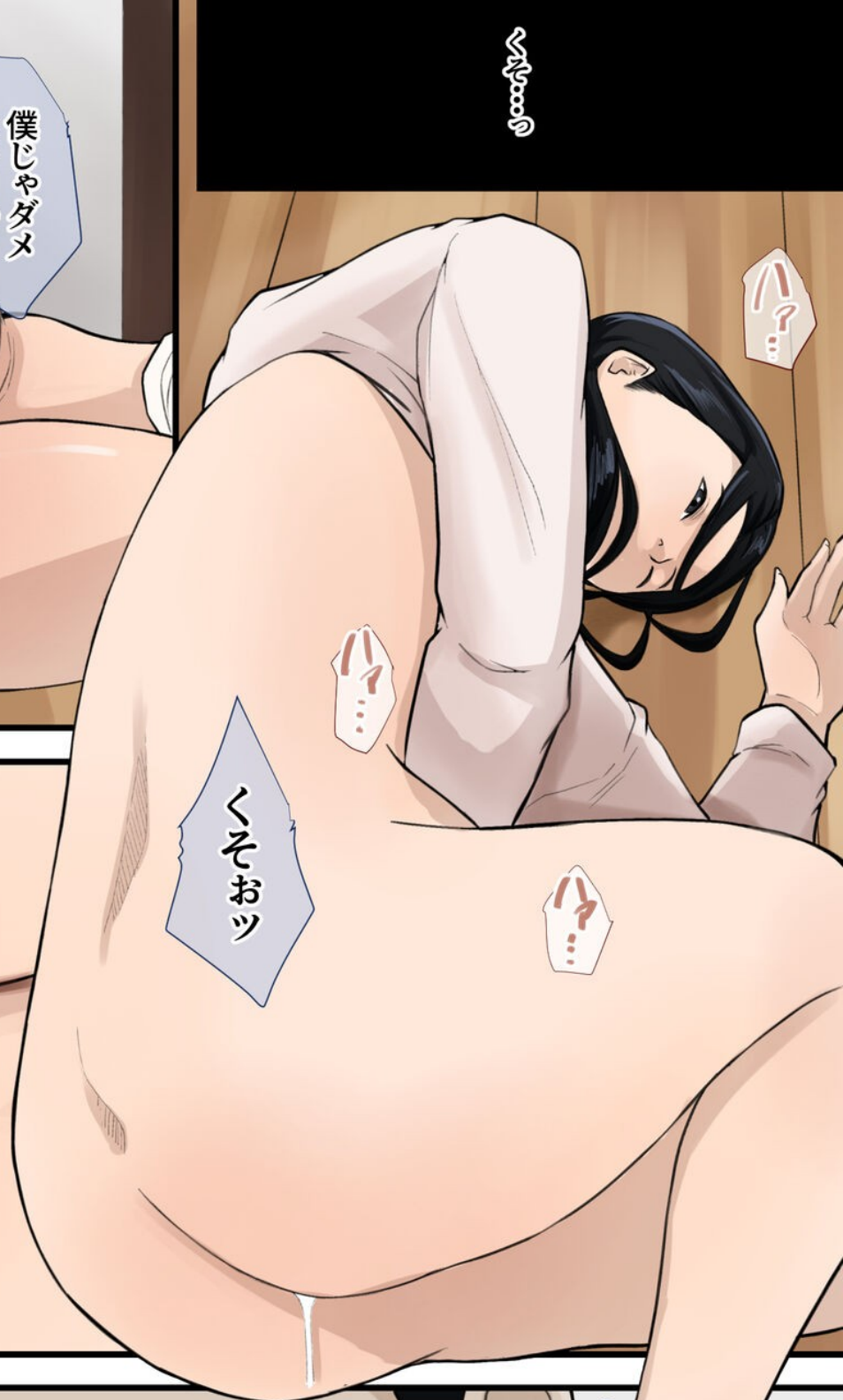


とろっ

びん

びん

あんな男の方がいいのかよ…ッ



ハ？！

ハ？！

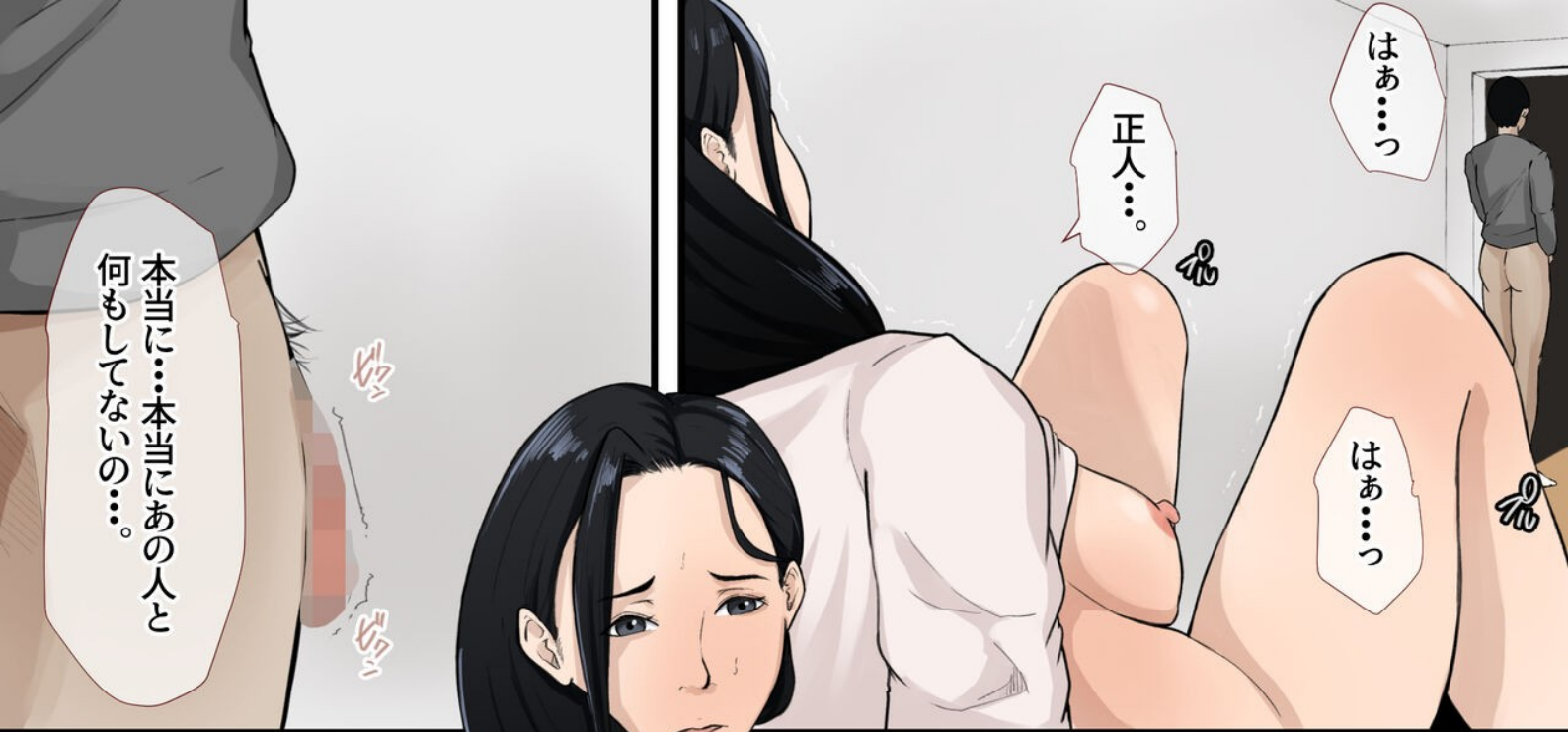
くそおッ

ハ？！



母さんを一番愛してるのは僕なのに…っ

僕だけが、母さんを…
幸せにできるのに…っ



はあ……っ

正人……

はあ……っ

本当に……本当にあの人と
何もしてないの……



私が身体を
ゆるしてるのは……

あなただけよ……



正人のならお母さん……
赤ちゃんが出来ても……

……本当？

母さん……

僕は、母さんを...

はあ...っ

はあ...っ

はあ...っ

正人...

正人お...っ

朋美を幸せにします。

